

仕事が命がけすぎて死んだふりして逃げたいんだけど……………

じゃがありこ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

現代ファンタジーとポストアポカリプスの間の世界に転生したイチチが頭を抱える話です。

需要があつたら続ける。

第17話	第16話	第15話	第14話	第13話	第12話	第11話	第10話	第9話	第8話	第7話	第6話	第5話	第4話	第3話	第2話	第1話
188	175	162	151	141	131	119	109	96	83	70	58	47	36	23	15	1

目次

第1話

仕事に命がけすぎて辛いんで死んだことにして逃げたいんだがw

1：名無しの転生者

ワイ一人じゃうまく方法が今んとこ思いつかん。博識ニキ、助けてくれ

2：名無しの転生者

何の仕事してんだよw勝手に逃げればいいだろw

3：名無しの転生者

開幕から草なんだが

4：名無しの転生者

とりあえず、イツチの現状を聞かせてくれ

5：いつち

あー、転生した世界は現代ファンタジーとポストアポカリプスを足して二で割ったような感じ。ブラック・ブレットが一番近いかも。一般人からすると普通に現代の生活をしてるのはほぼ変わらないんだけど、主要都市以外には別の世界から来た魔物が闊歩してる。魔物から得られる物質や資源を研究して、応用しているから元の世界よりは技術力が高い。

6：名無しの転生者

ほーん、イツチは一般人じゃないん？

7：いつち

ワイは別の世界からきた魔物を討伐したり、特殊な犯罪を取り締まったりする仕事をしてるんや。魔物から作られる武器を使って戦うお仕事やな。この武器を使うと身体能力が上がったり、武器由来の特殊な能力が使えるようになる。長々使っていると、武器なしでも特殊な力使えるようになる。ちなみに、(安全確認は一切されて)ないです。

8：名無しの転生者

今のところ割とありふれた転生者ライフに見えるが？一部不穏だけどな

9：名無しの転生者

は？戦闘系が一般的な転生者ライフだと？（殺意）ラブコメ世界に転生した奴らのどや顔を見てそんなことが言えんのかよ（血涙）

10：名無しの転生者

涙吹けよ

11：名無しの転生者

スローライフとか単純なイーजीラブコメディとか……控えめに言って氏ね

12：名無しの転生者

でも、まじめな話今のところスレタイほどの緊迫感は伝わってこんな

13：名無しの転生者

羨ましいわ

13：いっち

魔物を討伐する仕事……サバイバーって呼ばれるんやけど、誰でもなれる訳じゃないんよ。人口の数%しかなれないエリート職って世間では言われてる。別世界からくる異物は、いろんな意味で価値が高くてどこの国も企業も欲しがらるからな。需要がある職業だし、報酬もかなり高いねん。

14：名無しの転生者

ええやん、最高の職業や（フラグ）

15：いっち

適性があつた奴は強制的に政府の管理下に入って、魔物と戦わされるんよな……。ちな、最年少は10歳で今のところ一番長く生きたサバイバーは25歳や。逃亡した奴は、国の命令の下秘密裏に消されるし家族には現場の凄惨さはあんまり伝わってないらしい。付け加えるなら、この間ルームメイトの頭がパーンしたのを見たばかりや

16：名無しの転生者

17：名無しの転生者

18：名無しの転生者

19：名無しの転生者

涙吹けよ

20：いつち

涙なんてとうに枯れたわ！

21：名無しの転生者

意外とえぐかったな。ほとんど、徴兵やんけ

22：名無しの転生者

しかも、未知のものとの戦いだから死亡率が高いという。俺TUE

EEEEEEEEしてて悪かったな

23：名無しの転生者

と、とりま詳しく話を聞こうか？

24：名無しの転生者

ハズレセカイジャナイデスカヤダー

25：いつち

神様の転生特典もピーキーだし、もうダメだあ

26：名無しの転生者

ほう！転生特典！俺は死に戻りだったけど君は？（白目）

27：名無しの転生者

てかイツチの状況教えてや

28：いつち

年齢は15歳、黒髪青目の普通の中学生。転生して13歳までは何もなかったんだけど、ある日適性検査でサバイバーの適性があることがわかって、国の管理するサバイバーを育成する学校に入学。入学式で諸々の説明を受けて逃げようと思っただけ、目の前で同年代の奴が殺されたのを見て断念。以降、2年間探索したり魔物と戦ったりしてる。チーム組んだことのある奴で生き残ったのは3人だけ。後はみんな死んでるから、結構恨み言言われる。（転生特典が無かったら、100回は死んでる）

自分だけ生還し続けるから、死スプリガンの象徴とか呼ばれた。前の二つ

名は、尻尾卑怯者巻男だったな。狙撃しかしてなかったから。

転生特典は3つ。

一つは、予測眼：相手の動きを予測できる。物の動きもある程度予測できる。

二つ目は、ヒーロータイム：3分間パワーアップする。3分過ぎたら気絶する。

29：名無しの転生者

中々ハードな人生やな

30：名無しの転生者

っていうか、なんだその戦い専用の転生特典……………

31：名無しの転生者

まあ、俺の早起きする能力よりはマシやな

32：名無しの転生者

俺のスプーン曲げよりはマシだ

33：名無しの転生者

転生特典ハズレニキたちは強く生きて……………

34：いつち

別にこの二つには文句はないんだ……………

35：名無しの転生者

そう言えば、三つ目がないな

36：名無しの転生者

早く公開しろ

37：いつち

三つ目は……………安価をしたら、その安価の達成のための行動のみ超補正が付く。ただし、安価を意図的に失敗すると死ぬし、スレを開いた日に安価をしないと同じく死ぬらしい。

38：名無しの転生者

なるほどなあ

39：名無しの転生者

大変やなあ

40：名無しの転生者

でもやることは決まってるな

41：名無しの転生者

イツチを殺すわけにはいかんしな

42：名無しの転生者

これは人助けだよな

43：名無しの転生者

だからな？わかるだろ？

44：名無しの転生者

もう諦めたまえよ

45：名無しの転生者

とりあえず、何の安価を取るのか決めろ

46：名無しの転生者

みんな安価好きやなww

47：いつち

……：任務中に死んだふりする作戦を考えてるんだけど、どう思う？

48：名無しの転生者

話をそらしやがったww

49：名無しの転生者

どう思うって……

50：名無しの転生者

情報が無さすぎる

51：名無しの転生者

マジレスするなら、どういう形式で任務してるのかとかイツチの人間関係とか聞かせて欲しい。

52：名無しの転生者

情報収集は大事やな

53：いつち

人間関係：生き残ってるやつでは友達は3人。よくわからないけど、からんでくる知り合いが2人。

1人目は、白髪猫耳美少女。普段は静かだけど、割と激情家。三人の中だとかなり付き合いが長い。たぶん、ワイの10倍は強い。華奢なのに自分の体躯の2倍近い大雑刀で暴れてる。昔は、剣を使って

た。武器なしで能力使える。

2人目は、青髪幼女。ちなみに合法ロリ。今、19歳だった気がする。謎のカリスマがあつて、学園内の生徒は割とこの人のことを崇めてる。任務以外ではほぼ話したことない。時々お茶会に呼ばれる。

3人目は黒髪無口眼鏡イケメン。一匹狼。気が合わなかつたけど、割と話すほう。同い年。

からんでくる奴らは、任務の達成成績が5位と80位のやつ。任務の達成成績によって、待遇とか報酬が変わってくる。学園のやつは中1から大学4年まで含めて、4000人くらい。

54：名無しの転生者

他は全員死んだのか……………

55：名無しの転生者

3人目だけ、手抜き過ぎだろオ

56：名無しの転生者

思い入れの強さがわかるな

57：名無しの転生者

雑過ぎ。やり直し

58：名無しの転生者

もうちよい詳しく

59：名無しの転生者

性格がわかる話とか

60：いつち

じゃあ、一人目から

61：名無しの転生者

おいこら、ちよつと待て。……………猫耳ってどういうことだ？

62：名無しの転生者

ことと次第によつては……………潰す！

63：名無しの転生者

美少女で猫耳だと？

64：名無しの転生者

殺すしかないですねクレア

65：名無しの転生者
落ち着けケモノたちw

66：名無しの転生者
うるせえ!!! 獣耳は世界を救うんだよオ

67：いつち

世界とかどうでもいいから、ワイたちを救え

68：名無しの転生者

あ、はい

69：名無しの転生者

サーセンした

70：いつち

急に素直になるじゃん。いつもそうだったらなあ

71：名無しの転生者

は？

72：名無しの転生者

は？

73：名無しの転生者

下手に出てれば調子こきやがって

74：名無しの転生者

みんな情緒不安定過ぎんか？

75：いつち

とりあえず、ぎっくりと話すな。1人目は、エピソードがあり過ぎ
て急には出てこないんだけど一言でいうなら、『クール系だけど可愛
げがある女の子』って感じ。2人目は、マジで大人。理不尽に殴られ
ても任務中に裏切られても喚かないし笑ってる。なお、裏切った奴は
行方不明です。3人目は、むっつりスケベだな。一緒に女湯覗きに
行った。

三人とは1年間チームを組んで戦ってた。上の都合で解体された
けど、強制任務以外は未だに一緒に行動するわ

絡んでくるうちの一人は、二つ年上の女で何というか自分が可愛い
ことをよく理解している感じのギャル。2人目は、委員長系の女。二

人とも超攻撃的。

あ、獣耳はこの世界では一般的ってわけじゃなくて使ってる武器の影響らしい。

76：名無しの転生者

突っ込みどころが多すぎるww

77：名無しの転生者

まず、女湯を除いた結果を聞こう

78：名無しの転生者

そうだ。どうなったんだ。教えろ、あくしろよ

79：名無しの転生者

見えたのか？見たんだな？

80：いつち

ああ、見たぜ……三途の川をな

81：名無しの転生者

成仏してクレメンス

82：名無しの転生者

草

83：名無しの転生者

草

84：いつち

薙刀でぶっ飛ばされて、銃を乱射されながらも諦めないで笑って女湯に突撃した眼鏡イケメンが最高に漢だった。

85：名無しの転生者

草

86：名無しの転生者

仲良くなれそう

87：いつち

ちなみ、二人とも全治2か月の怪我を負いました

88：名無しの転生者

うわあ……

89：名無しの転生者

合法口り怖くね？絶対裏で裏切り者殺してるでしょ

90：名無しの転生者

案外、信者が殺してて本人は何もしていない可能性が……いやないな。絶対に闇深い系だろ

91：名無しの転生者

強制任務ってなんぞ？

92：いつち

任務には強制任務と自由任務があつて、強制任務は学園……国から強制されるもの。自由任務は、企業からの依頼を自由に選んで受けるもの。後者は、受けなくても文句は言われない。金払いだけはいからお金が欲しい奴は自由任務を結構受ける。あと、企業の専属のサイバーになれば学園から抜け出せるっていうメリットもある。企業の専属じゃないサイバーは、ずっと国に飼われることになる。自由依頼の報酬は、難易度に寄るけど一回50万から3000万くらい。強制依頼でも給料が発生することはある。この場合は、平均で700万くらいかな。成果によつて、上限は無限。死亡率は強制任務が10%くらい。自由の方は1%くらいだな。だけど、自由依頼の中にもやばめの奴が紛れてたりする。予想難易度が高めの奴は大抵誰か死ぬな。

白髪猫耳は母子家庭の弟たちのために、自由依頼をかなりの高頻度で受けてた。ワイと他二人はそれを手伝う形で一緒に参加してた。

学園に入学して4年はチームを組んで戦うんだけど、ワイらみたいに特殊な理由で解体されることは稀にあるらしい。

達成成績つていうのは、依頼をどの程度達成できたかつていうので決まる。まあ、任務が達成できればA評価で、希少な素材を持ち帰ってきたらS評価みたいな感じで、総合の成績で順位が決まる。

93：名無しの転生者

ほーん。ちなみに、イツチはどのくらいの順位なん？

94：いつち

4位

95：名無しの転生者

は？

96：名無しの転生者
マジ？

97：名無しの転生者

イツチ強すぎるだろw

98：いつち

マジでチームを組んでた時代の栄光がでかい

99：名無しの転生者

まとめ

強制任務は国から強制されるもの。

危険度は高め。

報酬：700万から上限なし

自由任務は企業からの依頼を自由に選んで受けるもの。

受けなくても文句は言われない。

金払いだけはいいからお金が欲しい奴は自由任務を結構受ける。

企業の専属のサイバナーになれば学園から抜け出せるっていう

メリットもある。

危険度は低め。例外があり。

報酬：一回50万から3000万くらい。

こんな感じ？

100：いつち

そんな感じ。あと、一人目のエピソードあったわ、任務でワイが庇って怪我をしたときに尋常じゃないくらい取り乱して泣いてた。

101：名無しの転生者

ほう

102：名無しの転生者

何かありそうな反応ですねえ

103：いつち

そろそろ最初の安価取るか

104：名無しの転生者

待ってました！

105：名無しの転生者

やっとか。待ちかねたぞ

106：名無しの転生者

腕が鳴るぜ

107：いつち

……行くぞ！

死んだふりをする依頼に誰を連れていくか >>130

108：名無しの転生者

つていつても候補が5人しかいないっていうな

109：名無しの転生者

もう全員つれて行けよ

110：名無しの転生者

そもそも、どんな任務に連れて行くんだよ

111：名無しの転生者

闇深そうな合法ロリ一択では？

112：名無しの転生者

いや、トラウマがありそうな猫耳では？

113：名無しの転生者

つていうか、連れてった奴は絶対に曇るよな

114：名無しの転生者

はッ!?

115：いつち

閃いた！

116：名無しの転生者

通報は勘弁してやる

117：名無しの転生者

せやな

118：名無しの転生者

猫耳を曇らせろ

119：名無しの転生者

いや、ここはあえて眼鏡イケメンを曇らせろ

120：名無しの転生者

誰を連れっけても曇るってことでおk？

121：名無しの転生者

おk

122：名無しの転生者

絡んできている奴は曇るのか？

123：名無しの転生者

いいから猫耳を曇らせるんだよ！あくしろ

124：名無しの転生者

正直、合法ロリとか眼鏡イケメンが曇らなかつたらそれはそれで面

白いな

125：名無しの転生者

でもイツチが死んだ（ふり）の後は、どうなっても把握できないじゃ

ん。意味なくね？

126：名無しの転生者

確かにそうじゃん

127：名無しの転生者

やる気なくなつたわ、ペツ！

128：名無しの転生者

合法ロリ

129：名無しの転生者

眼鏡イケメン

130：名無しの転生者

猫耳

131：名無しの転生者

決まったな

132：名無しの転生者

安価達成のための行動には補正が付くんだよな………死んだふり

の仕方決めようぜ

133：名無しの転生者

死に際（死んだふり）のセリフも決めなきやな？

134：いつち

お前ら鬼かよッ!?

135：名無しの転生者

いいからはよ安価しろ

136：名無しの転生者

安価の数だけ強くなれるって古事記にも書いてある

137：名無しの転生者

古事記に落書きされ過ぎだろw

138：名無しの転生者

いいから安価

139：名無しの転生者

大丈夫だ！俺たちが付いてる

140：名無しの転生者

安価を信じろw

141：いつち

死んだふりの仕方、死に際のセリフ

>>150

>>158

142：名無しの転生者

庇え

143：名無しの転生者

庇って死ぬ

144：名無しの転生者

身代わりになって

145：名無しの転生者

ここは俺に任せて先に行け

146：名無しの転生者

庇え！

147：名無しの転生者

わざと怪我して、俺を置いて逃げろしろ

148：名無しの転生者

俺に任せて先に行け

149：名無しの転生者

庇う

150：名無しの転生者

庇うもしくは俺を置いて逃げろ

151：名無しの転生者

草

152：名無しの転生者

草

153：名無しの転生者

みんな打ち合わせでもした？ww

154：名無しの転生者

死にたくはない

155：名無しの転生者

無事で……よかった

156：名無しの転生者

これは……陰謀だ

157：名無しの転生者

お前が無事なら、それでいい……

158：名無しの転生者

お前のこと、好きだったぜ……後は頼む

159：いっち

クソが……

第2話

仕事に命がけすぎて辛いんで死んだことにして逃げたいんだがw

174： いっち

ただいま

175：名無しの転生者

お、帰ってきた

176：名無しの転生者

おかえり、イツチ

177：名無しの転生者

はよ、報告しろ

178：いっち

あー、実はまだ実行してないんだよね……………すげー、不測の事態が起こっててな？

179：名無しの転生者

は？まだやってないの？

180：名無しの転生者

は？イツチマジか。ファン止めるぞ？

181：名無しの転生者

イツチ君……………

182：名無しの転生者

安価は絶対だろ？

183：名無しの転生者

話ぐらいいは聞いてやるよ

184：いっち

任務には誘えたり、準備も整えた(血液パックとか)。内容は魔物の討伐。目標の魔物と遭遇(森の中)。上手いこと猫耳を庇って死んだふりをしようと思ったら、別の魔物が乱入。見たことのない人型の魔物だった。そいつが暴れて目的の魔物は瞬殺。こつちにも襲いかかってきて、二人とも負傷。いったん距離を取って作戦会議。ち

なみに、ワイの10倍は魔物の方が強いな。猫耳よりも強い。

任務に行く前にここもおさらばかっていう感傷に浸って、校長にどや顔で「これはもう必要ありませんから」って言って予備の武器と
か置いてきた。

185：名無しの転生者

あく理解した。完全に理解した（白目）

186：名無しの転生者

情報量の多さよ

187：名無しの転生者

で？どうするんだ？

188：いつち

安価する

189：名無しの転生者

は？

190：いつち

攻撃が通らないかつクソ強い魔物をどうにかしたい。いい感じに
猫耳を庇えてセリフも言える方法

>>>206

191：名無しの転生者

イツチやけくそになってる？

192：名無しの転生者

そら、ここにきて逃げ帰るわけにはいかないもんな

193：名無しの転生者

しやあねえ、やるか

194：名無しの転生者

たまげたなあ……

195：名無しの転生者

地形がわからないと案が出せない

196：いつち

山奥の森の中。少し行ったところに川とその上に崖がある。今は
森の中の切り株に身を隠している。

197：名無しの転生者
ああ、それは一つしかないな。

198：名無しの転生者
っていうか、イツチも考えていること同じだろ……………

199：名無しの転生者
情報が局所的すぎるもんな。転生特典で成功率を上げたいんやろ

？

200：名無しの転生者
協力してやるか……………

201：名無しの転生者
崖までおびき寄せて川に落ちる

202：名無しの転生者
魔物と一緒に崖から落ちろ

203：名無しの転生者
魔物だけ落とすなんて許さない。お前も一緒に川にダイブしろ

204：名無しの転生者
人型の魔物かあ……………

205：名無しの転生者
みんな鬼だろw覚醒して、倒せばいいだろう？

206：名無しの転生者
お前が一番鬼畜だ。あえて、猫耳を崖から落として自分が囹になれ

207：名無しの転生者
これイツチが死んだふりじゃなくて純粹に死にかねないので？

208：名無しの転生者
もう一回安価しろ。逃げ切る方法を教えてやるぜ

209：名無しの転生者
魔物から逃げきる方法……………

210：名無しの転生者
草

211：名無しの転生者
イツチがここでゲームオーバーはつまらない

- 213：名無しの転生者
流星にな
- 214：名無しの転生者
安心しろ、きちんと逃げさせてやる
- 215：名無しの転生者
お前らはどこ視点なんだww
- 216：いつち
逃げ切る方法
- >>228
- 217：名無しの転生者
走れ
- 218：名無しの転生者
どうにかして魔物の足を斬り落とせ
- 219：名無しの転生者
倒せばええんやで
- 220：名無しの転生者
勝てばいいだろ
- 221：名無しの転生者
覚醒しろ
- 222：名無しの転生者
覚醒しろ
- 223：名無しの転生者
転生特典使え
- 224：名無しの転生者
上手いこと罫に嵌めろ
- 225：名無しの転生者
魔物も崖から落とせ
- 226：名無しの転生者
みんな鬼畜過ぎ
- 227：名無しの転生者
走って逃げる

228：名無しの転生者

魔物と戦いつつ覚醒して、寸でのところで負ける。相手の攻撃を受けて、森に吹き飛ばされる。で、血で跡を作りつつそことは違う方角にいい感じに逃げる

229：いつち

後で呪ってやるからな

230：名無しの転生者

まともなの引いたな

231：名無しの転生者

適切な当たりだから実質大丈夫

232：名無しの転生者

主人公ムーブだ

「あいつを崖におびき寄せて落とす。で、ここから逃げる。これが最善だろ」

夜光は雨の降ってきた空を見上げて、相棒の少女に提案した。お互い肩で息をしている。夜光の方は狙撃銃は破損し、近接用の刀に切り替えている。凜のほうは武器は無事なもの、夜光が表情を盗み見ると痛みに顔を歪めていた。太ももに走る切り傷からとめどなく血が流れ出している。それ以外にも至る所に傷がついていた。それは近接戦を得意とし、速さと魔力で相手を圧倒する凜にとって最大の武器を殺されたも同然といえる。しかし状況がより絶望的になったことで、逆に夜光の頭を冷静にさせていた。掲示板の奴らは許すわけないが。

「どうやって崖におびき寄せる気ですか？」

「どつちかが囧になるしかないだろうな……まあ、俺がやるさ」

「は？夜光はバカなんですか？」

範囲だった。

「斬るなら首だろッ！」

離れた足を再び地面に着けるよりも早く、夜光は腰を蹴りぐるんと駒のように全身が回るその勢いを乗せ、切っ先と右の足から放たれる蹴りがそれぞれ魔物の首と胴体を狙う。魔物は無造作ともとれる動きで異様に伸びた爪の刃を振るった。切っ先が少年の刀の真ん中に軽く触れた。それだけだった。それだけのはずだった。だが、加えられたわずかな力が精妙だった夜光の技術を、そのうちに流れていた力のバランスを完膚なきまでに壊してしまった。左に振り抜くはずだった刃が斜め下に打ち抜くはずだった踵が逸れていく。

「クソッ！ 理性的すぎるだろ!?!ほんとに魔物なのかよッ！」

もはや攻撃どころではない。完全に制御を失って、地面に倒れる瞬間夜光は男を見せる。

無理な体勢で手を突き、その足めがけて刃を振るった。僅かに傷がつく。一瞬怯んだことが起点となり、戦況が変わる。

『鳴電雷』ッ！」

轟音と共に雷光が瞬く。薙刀から放たれた轟雷は確実に、魔物にダメージを与えていた。

それでも、彼女の焦りはかき消えない。圧倒的な才能と経験値で武器を振るう少女。それに対し魔物の爪剣の動きは緩やかで無駄が多いようにも見える。しかし、その緩やかな剣が少女の渾身の攻撃を悉く凌いでいる。

「あああああああああッ!!!」

凜はまるで手応えのない水を斬っているような感覚に歯ぎしりした。そして、不安を振り切るように声を上げる。

やがて決着の時が訪れる。パンと甲高い音とともに少女の手にあったはずの薙刀が空高く打ち上げられた。明後日の方向に弾かれた刃が甲高い音とともに地面に転がる。

そして次の瞬間には————少女の胴体を魔物が穿って………

そんな未来を見た夜光は寸でのところで、二人の前に割り込み魔物

の攻撃を胴体で受けた。不自然なほど周囲に散っていく鮮血が少女を動揺させる。魔物はその感触に困惑する。

そして――夜光は

「さようならだ。凜。お前のこと、結構好きだったぜ……………」

夜光はフツと場違いなさわやかな笑みを浮かべると少女を突き飛ばした。

「あっ――」

伸ばされる少女の手を少年は掴むことはなく、ただただ安堵したような笑みを浮かべているだけだった。

覚醒した？

13： いったち

何か死にたくない……力を貸せ阿修羅丸！したら覚醒できた。
武器からめちやめちやフィードバックが来た

14：名無しの転生者

マジか……

15：名無しの転生者

安価を守るスレ民の鏡やな

16：名無しの転生者

安価を取ったから覚醒したのか？

17：名無しの転生者

いや、あの安価に覚醒しろなんて書いてなかった……希ガス

18：名無しの転生者

魔物は倒せたん？

19：いったち

普通に無理。覚醒したけど、倒せなかった。隙を見て逃げてきた。

20：名無しの転生者

お前に誇りはないんか！

21：名無しの転生者

誇りは……浜で死にましたッ！

22：名無しの転生者

イツチ的に見たことのない魔物が現れるのは普通なん？

23：いったち

かなり珍しい。それにあの魔物マジで理性と技術があつたわ。ワ
イの剣術完全に見切られてたからなあ

24：名無しの転生者

っていうか、武器からフィードバックが来て力を手に入れるの純粹
に怖いな

25：名無しの転生者

魔物からできてるんやろ？その武器

26：名無しの転生者

話それ過ぎだろ。イツチの現状報告に耳を傾けろ

27：名無しの転生者

てかイツチの状況教えてや

28：いつち

基本的に安価通り進めた。猫耳を崖の下に突き落とした後は、覚醒して魔物を撃退。隙を見て逃亡。用意しておいた服に着替えて武器を川に沈めて、森から出て近くの町に向かった。そこで、電車に乗って今は渋谷のコンビニでアイス買ってる

29：名無しの転生者

温度差よ

30：名無しの転生者

仲間を崖に突き落としたの割と最低だよな

31：名無しの転生者

自分だけ逃げだしてるんだから今更だろ

32：名無しの転生者

イツチにはいる意味ないんだろうしな

33：名無しの転生者

安価！安価！安価！

34：いつち

問題は三つだな。拠点とお金と身分証明書

35：名無しの転生者

現代日本で身分証明書がないのは致命傷だな

36：名無しの転生者

監視カメラとかに移っても平気なんか？イツチが生きてるってバレたらやばそうやけど

37：いつち

自分でいうのもなんだけど、武器も装備もなしで都市の外を一人でうろつくのは自殺行為。転生特典があるワイだから、生き残ってるけど普通の奴がやったら町に着く前に死ぬ。だから、目撃証言と破損した武器を見れば、学園は死亡扱いにする。国の機関に執行局っていう逃亡者や未登録のサイバーを捕縛したり殺害したりする仕事があ

るけど、そいつらの標的は危険人物が大規模な犯罪を犯した奴、はつきりと学園から逃亡した証拠がある奴だけだからたぶん大丈夫。

38：名無しの転生者

未登録のサバイバーなんているの？

39：いつち

検査をすり抜けて遅咲きでサバイバーとして目覚める奴は数人だけどいる。基本、そういうやつは発覚した瞬間、国の役人か学園の奴が回収しに行くんだけど、極稀に武器を持ったことないのに能力を使える奴がいてそういうやつは執行局が対処する。超早熟で生まれつきサバイバーとして目覚めているやつとか上手く逃げ切った奴の中には犯罪に手を染めたり勢力を拡大するやつとかが多いらしい。

40：名無しの転生者

ちよつとサバイバーについてよくわかんなくなってきた。解説して？解説しろ？

41：名無しの転生者

えー、それより安価しようぜ

42：名無しの転生者

最近、安価中毒者増えすぎだろうww

43：名無しの転生者

安価は麻薬だった？

44：名無しの転生者

このスレ中毒者ばかりやな

45：名無しの転生者

お巡りさん、ここですー

46：名無しの転生者

イツチの世界ってサバイバーは昔っからいるのか？

47：いつち

いない。もしかしたらいた可能性はあるけど、正式にサバイバーが確認されたのは100年前に世界各国に大穴が空いてからだな。そこから、異世界由来の魔物とかよくわからない物質とかが漏れてきている。最初こそ、魔物に人類は押され気味で一時期は滅ぼされそうに

なつてたけど、サバイバーの活躍で押し返しつつある。先進国ではほぼ押し返した。20年前くらいには都市防衛の方法が見つかったから、余裕が出てきて技術競争と金のためにサバイバーを逃がさない今の体制が出来上がった。サバイバーになってから最初の1年が肝で、ここを乗り切れれば格段に生存率が上がってくる。最初の1年で学園入学者の30%が死ぬ。あまりに死に過ぎるから、毎年1年生にはルームメイトと自己紹介をする必要はないって皮肉じみたアドバイスを送っている先輩が結構いる。

ワイの勝手な予想だけど、サバイバーって昔でいう魔女みたいな存在なんじゃないかって思ってる。魔物由来の武器だって、サバイバーだけが認知できる魔力って力を通して使ってるし、武器を持ったことない人間の中にも能力を使える人間がいるのは生まれつき能力を使える特別な存在だった説がある。

48：名無しの転生者

改めて聞くとクソだな

49：名無しの転生者

結局、サバイバーについてはイッチもよく分かってない感じ？

50：いっち

そうやな、正直分かってない。ただ、サバイバーが強くなる要因は二つ、武器を使っている時間と密度に依存しているらしい。戦いが死闘であればあるほど、時間が長ければ長いほど強くなるらしい。まあ、才能も結構関係あるけどな。

51：名無しの転生者

話が重い！とりあえず、安価しろ

52：いっち

おっけ。逃げ切れた祝いや！安価するで！

今日泊まる場所をどうするか＞＞70

53：名無しの転生者

ネカフエ

54：名無しの転生者

空き巣

- 55：名無しの転生者
ホテル
- 56：名無しの転生者
てかイツチは所持金いくらなん？
- 57：名無しの転生者
ラブホ
- 58：イツチ
- 4万くらい。お金下ろすと生存がばれるからできない
- 59：名無しの転生者
ナンパして泊めてもらえ
- 60：名無しの転生者
ナンパしてラブホに行け
- 61：名無しの転生者
スレ民の大半はラブホなんて行ったことないやろ？
- 62：名無しの転生者
ワイ、エロゲーの世界の主人公として転生した。ドヤツ
- 63：名無しの転生者
殺せ
- 64：名無しの転生者
間抜けは見つかったな
- 65：名無しの転生者
生かしておくな
- 66：名無しの転生者
普通にネカフェでいいやろ
- 67：名無しの転生者
絡まれている女の子を助けて家に押しかけろ
- 68：いつち
- ここはギャルゲーの世界じゃねえんだよツ！
- 69：名無しの転生者
そうとは言い切れないやろ
- 70：名無しの転生者

ナンパして居候しろ

71：名無しの転生者

ビジネスホテル行け

72：いつち

今更だけど、ホテルは渋い。携帯端末は放置してきたから、ホテルに泊まらない。

73：名無しの転生者

決まったな

74：名無しの転生者

ナンパして居候か

75：いつち

これは滾るな、セリフを考えるぞ

76：名無しの転生者

もちろん、安価だよなあ？

77：名無しの転生者

カッコいセリフ考えたるから安心して委ねろ

78：いつち

いいよ。ナンパのセリフ>>>97

79：名無しの転生者

いつになくイツチが素直だ

80：名無しの転生者

今日からお前は俺の飼い主だ

81：名無しの転生者

お嬢さん、迷子の犬を拾う気はありませんか？

82：名無しの転生者

今ならお値段が何と無料！諸事情で身分が明かせませんが、優良物件ですよ

83：名無しの転生者

草

84：いつち

ナンパしたことない奴らが、ナンパのセリフ考えるのか…控えめに

言って地獄だな

85：名無しの転生者
は？

86：名無しの転生者
喧嘩売ってんのか？

87：いつち

いやごめん、気に障ったのなら謝る

88：名無しの転生者

まあ、それはそう

89：名無しの転生者

ええんやで

90：名無しの転生者

優しい世界

91：名無しの転生者

やさしいせいかつ

92：いつち

何か怖くなってきたからまともなの頼むぜ

93：名無しの転生者

すいませんライオン落ちてませんでしたか？

94：名無しの転生者

今から適当な財布を買って、すいません、財布落としましたか？
か？しろ

95：名無しの転生者

死にたくなければ言うことを聞け

96：名無しの転生者

メモを買って「俺はお前の秘密を知っている」って書いて渡せ

97：名無しの転生者

素敵な夜ですね？少しお話しませんか？って言いながら騒ぎを起こされたくなければ大人しくしろって書いた紙を渡す

98：名無しの転生者

玩具の水鉄砲買って、後ろから突き付けて家まで案内しろって言う

99：名無しの転生者

お姉さん、暇？今から遊ばない？楽しいよ？

100：いつち

ロクなのがねえ……

101：名無しの転生者

これはひどいwww

102：名無しの転生者

ライオン落ちてませんか？斬新すぎだろうwww

103：名無しの転生者

完全に脅迫じゃんwww

104：名無しの転生者

どうしてこうなった？

105：名無しの転生者

イツチこれをやるんか。通報されそうw

106：名無しの転生者

だが、安価は絶対

107：いつち

……（白目）

108：名無しの転生者

ナンパとは何だったのか……

109：名無しの転生者

イツチが死んだw

110：名無しの転生者

この人でなしーッ！

111：名無しの転生者

イツチの霊圧が……

112：名無しの転生者

イツチ……イツチ、イツチ………応答しろイツ

チイイイイイイイ

113：名無しの転生者

おいたわしや

114：名無しの転生者

イツチ、お前のことは忘れないぜ

115：いつち

拠点確保したら、お前らを呪いに来るから

116：名無しの転生者

そのセリフが辞世の句か？

141：いつち

ただいま。何も聞かずにとりあえず安価に参加してくれ。事情は後で話すから。

バーの下に巨大な地下空間があつてそこで4人のサバイバーに囲まれていきます。ワイは丸腰だけど、相手は一人を除いて武器を持っています。どう無力化する？

>>150

集団のボスっぽい奴に啖呵を切る際のセリフ

>>158

142：名無しの転生者
は？

143：名無しの転生者
ファ!?(。D。)

144：名無しの転生者

何だその展開

145：名無しの転生者
急展開過ぎるだろ(困惑)

146：名無しの転生者
とりま、戦って無力化しろ

147：名無しの転生者

セリフを募集するとはスレ民だなwww
全員素手でぶっ飛ばす

148：名無しの転生者

一人倒して武器を奪って反撃開始

149：名無しの転生者

人質を取る

150：名無しの転生者

どうにかして武器を奪って戦え

151：名無しの転生者

逃げた方が良いだろ

152：名無しの転生者

転生特典使え

153：名無しの転生者

一人倒して人質にしろ

154：名無しの転生者

武装してない奴を狙え

155：名無しの転生者

俺に勝てるわけないだろ？

156：名無しの転生者

この程度の修羅場は飽きるほど潜ってきたッ！

157：名無しの転生者

お前らとは潜ってきた死線が違うんだよ

158：名無しの転生者

俺はあいつに会うまで死ねないんだッ
!!!!!!

青い空が見えていた。ぼんやりとそれを眺めていた凜は、すぐに我に返った。傷が痛い。つまり自分は生きているようだった。随分流されてしまったようだが、落下地点から距離は離れていないにもかかわらずあの人型の魔物に襲われた様子はない。その事実が、ひとつの幻想を生み出し体を縛った。

そうだ。まだ間に合うんだ。夜光はまだいるはずだ。何も失われてなんていない。あの憎らしいパートナーはいつも通り元気なままのはずだ。声をかければ、目を合わせれば、また、面倒くさそうにしながらも、また笑いかけてくれるはずだと思ひ込む。痛む体を無理やり動かし、川の上流へと足を進め、崖の方を見る。そして愕然とした。

そこに崖なんてものは存在しなかった。そこにあったのはただただ凄まじい戦闘痕のみであった。自分が抜けてしまった後の戦闘の激しさを物語る圧倒的な地形の変化。ただの自然現象で崖がなくなってしまうと言われた方がまだ説得力があるが、近くまで行って視認することが出来る至る所に付着した血液がそこであった戦闘を想起させた。

肉食動物に噛みちぎられたような不自然な肉片や刀身が砕けた刀、学生服の残骸。それらは全て夜光が身につけていたものだど、確信した凜はその場に崩れ落ちた。彼が最後に浮かべた安堵の表情がフラッシュバックする。

『いつ死ぬかもわからないんだぜ？俺をかわいそうに思って、猫耳触らせてくれよ。尻尾でもいいからな？』

『おい、凜！お前一人で何でもできると思っているのか？思い上がるのもいい加減にしろよッ!!!』

『天才だか何だか知らないが、俺の目の前にいるのはクソ生意気な大凜凜って小娘だ。俺にはお前しか映ってないんだよッ!!!!お前はどうか？何が映ってる？』

『お前は夢とかないのか？母親や弟の心配ばかりじゃなくてさ』

『じゃあ、約束だ。20歳になって酒が飲めるようになったら——』

「あああ……ああ……あああ……あああ……あああ……あああ……!!!」

凜は叫んだ。叫びの中身は自分自身でもわからなかった。すぐに喉が限界を超えた。声が全く出なくなっただけでもなお少女は叫び続けた。

傷の痛みに身をよじる。凜は弾かれたように目を開く。瞼の裏の光は消えて、現実の薄闇が瞳に飛び込んでくる。

「痛い……………」

無意識の自分のつぶやきが急速に意識を覚醒させた。そこは見慣れた学園の保健室だった。体中が痛むなあ。顔をしかめながら身を起こす。傷の具合を確かめる。窓際に近づき外の様子を伺ってみる。そこにあるのはいつも通りの光景だった。

「ようやく起きたか……………」

保健室の中央に立っていたのは、自分の元チームメイトである有栖であった。

「病み上がりできついとは思うがついてきたまえ。心の整理をするにしろ、しないにしろ君には聞く権利があるはずだ」

よくわからないまま、嘆息を一つ窓辺を離れる。普段通りの有栖も表情が現実感を抱かせず、抵抗する気が起きなかったのである。

少年がいなくなった学園で、彼女たちは新たな朝を迎える。少年がノリで置いていった忘れ物は、学園を延いては、サバイバー達の世界を揺るがすトリガーになるとは知らずに。

第4話

ナンパした相手に逆につかまって仲間になれと脅されている件について

1：いつち

どうしてこうなった

2：名無しの転生者

こつちのセリフや

3：名無しの転生者

ラノベのタイトルかな

4：名無しの転生者

k w s k !

5：名無しの転生者

安価は成功したのか？失敗したのか？それが重要だ

6：いつち

安価は成功した。めちやくちや可愛い、銀白髪のお嬢さんに声をかけた。変なバーに連れていかれて、よくわからない酒を頼むと床が開いて階段が出現。流れで付いて行ったら、体育館の3倍くらいの地下空間に出て、ちよつと問答した後に戦闘開始。2人はサクツと無力化して、最後のラスボスっぽい人に手も足も出ずに、捕まった。

7：名無しの転生者

何言ってるかわかんないな

8：名無しの転生者

急展開が過ぎるぞ

9：名無しの転生者

それで前回の安価をしたのか

10：名無しの転生者

もう少し詳しく

11：名無しの転生者

情報量が多すぎて少ない

12：名無しの転生者

まず、声をかけた女は待ち伏せしてたやつらの仲間だったん？どう
いう会話をした後、戦闘になった？

13：いつち

安価通りのセリフを吐いたら、バーに案内される。地下室に行く。
そこで、ボスらしき男に目的を問われる。

男がすげー高身長のイケメンが、中二病全開みたいなセリフを吐く
から面白くなって「綺麗な蝶に誘われてここに来ただけだ。歩き方ひ
とつで素人じゃないのがバレバレだぜ」

って言ったら、いきなり銃撃された。後からわかったけど、あそこ
にいたのは学園から逃げてきたサバイバーとか国から秘密裏に追わ
れているサバイバーらしい。

14：名無しの転生者
草

15：名無しの転生者

イツチが追手だと思ったのか

16：名無しの転生者

深夜テンションで喋ってるなw

17：名無しの転生者

出来の悪い勘違い小説のお約束展開みたいだw

18：名無しの転生者

現実には小説より奇なりってか？

19：名無しの転生者

声かけた女の子は可愛かったか？

20：名無しの転生者

何気にイツチが瞬殺されたのって初めて？

21：いつち

目が覚めると椅子に縛り付けられてた。で、さっきまでワイが学園
から逃げてきたことを説明して、敵じゃないことをアピールしてた。
幸い、ワイが武器を持っていかなかったのが信用する材料になったらし
い。この人たちは、生まれつき能力が使えるサバイバーや逃げ出して

きた奴らを保護しているらしくて、その過程で執行局に仲間を殺されたりするから怪しい奴には最大限の警戒をするらしい。

>>>19

クソ可愛かった。今治療してもらってるけど、マジで見ているだけで眼福。華奢な体躯とフードの下の人形のような精緻に整った白貌。宝石めいたサファイヤ色の瞳に膝裏まで届く銀白髪が、一見ぶかぶかで不自然だと言われるであろうパーカーと不思議な調和を再現している。

22：名無しの転生者

草、ぜつたい早口やろ

23：名無しの転生者

食レポならぬ女レポ始まったな

24：名無しの転生者

イツチの謎のレポのせいで、話が入ってこんw

25：名無しの転生者

うらやま死

26：名無しの転生者

イツチは殺すってことでおk？

27：名無しの転生者

おk

28：名無しの転生者

写真上げろw

29：名無しの転生者

転生者掲示板って画像とか上げられんだっけ？

30：名無しの転生者

不可能じゃないけど、そういう転生特典持ちじゃないと無理

31：名無しの転生者

ってかイツチは白髪関連好きやな

32：名無しの転生者

無意識に猫耳のこと思い出してんのか？

33：名無しの転生者

高身長イケメンボスの詳細はよ

34：名無しの転生者

他のメンバーの詳細を教えろ

35：いつち

高身長イケメンボス、ワイが見てきたサバイバーの中でぶつちぎりで強い。だけど、転生特典で不意を突けば殺せそうな気がする。8年前に学園を逃げ出した25歳だって。

無口透明シヨタ、全然喋らないし色素の薄い眼をしているのでガラス細工みたいに見える。たぶん、武器なしで能力が使えるタイプ。強くないけど、やばそう。

マシンガンマツチヨ、マシンガン打ってきた巨漢。そんなに強くない。弱くもないけど。

我らが銀白髪ちゃん、ちよつと年上。最高やなツ！

36：名無しの転生者

イツチの物差しが強いが強くないかとか、殺せるか殺せないかとかで、過激すぎるw

37：名無しの転生者

無口透明シヨタとかマシンガンマツチヨとか………イツチ：お前ネーミングセンスが

38：名無しの転生者

わかりやすいからいいんじゃない？

39：名無しの転生者

一発で理解できる

40：名無しの転生者

面白いのでヨシ！

41：名無しの転生者

つというか今の状況。何気に最高なのは？そのまま保護してもらえば、諸々解決するんじゃない

42：名無しの転生者

8年間も隠れ住んできた実績があり、執行局を倒せる実力がある。なるほど。クオレワ勝ったのでは？

43：名無しの転生者
いけるいける

44：名無しの転生者
そろそろ安価しようにぜ

45：名無しの転生者
安価！安価！安価！

46：名無しの転生者

いや落ち着け、高身長でイケメンで強くて年上だと？絶対怪しいだ
ろ

47：名無しの転生者
信用しない方が………

48：名無しの転生者
相手が狂人の場合も考えて、こっちも狂人ロールプレイしようにぜ

49：名無しの転生者

狂人ロールプレイ………前にそんなスレあったような………

50：名無しの転生者

大惨事になった奴やな。最終的に世界が滅びて、神様が頭抱えたら
しいで。その後、腹抱えて爆笑してたらしいけどな

51：名無しの転生者

あの伝説のスレか、聞いたことはある

52：名無しの転生者

掲示板のスレってスレ立てた奴が死ぬと消えるからなあ

53：名無しの転生者

そろそろ安価しようにぜ？

54：名無しの転生者

狂人相手に狂人ロールプレイは乙る気がする

55：名無しの転生者

とりま、安価しよう

56：いっち

相手の提示している条件は三つ。一つは、保護の対象者がいた場合は協力してもらうこと。二つ目は、みんなとなるべく仲良くしてほし

いということ。三つ目は、私の個人的な仕事の手伝いをできればしてほしいということ。この三つが守れるのなら、金銭的援助と偽造の身分証明書、サバイバーの相棒である武器を与えるって。

仲間になるか否かの返答

>>>70

57：名無しの転生者
だが断る！

58：名無しの転生者
要するに：「お前も仲間にならないか？」ってわけか

59：名無しの転生者
断るしかねえな

60：名無しの転生者
>>>58

これは断るしかないぜw

61：名無しの転生者
残念でもなく当然

62：名無しの転生者
選択しなくないか？マジレスすると、イッチはこいつらの手を取ら

ないといつか存在がばれそう

63：名無しの転生者
でも、怪しすぎるんだよなあ。金とか何処から出てきてるんだろ
.....

64：名無しの転生者
だが断る！

65：名無しの転生者
断った方が良いんじゃないやね？

66：名無しの転生者
逆に質問しろ

67：名無しの転生者
逆に条件を付けるんだ。銀白髪ちゃんの身柄をよこせと

68：名無しの転生者

あんたの腹の内を見せろって言え

69：名無しの転生者

随分面白い野望を抱えているんだな。面白うそうだって意味深なことを言う

70：名無しの転生者

お前の野望の行く末……それが見たくなってきたぜ（訳知り顔）しろ

71：名無しの転生者

俺からも条件があるぜ

72：名無しの転生者

裏切りは死を持って償わせるからな

73：名無しの転生者

また香ばしいのが……

74：名無しの転生者

これただの痛い奴では？

75：名無しの転生者

素面でこれ言うのか。しんどいなw

講義室より少し狭い校長室。その部屋には現在4人の人間がいた。その内、三人は夜光の元チームメイトだった。凜は迷子な子供のような表情を浮かべている。有栖は、仮面をつけているかのような無表情を。計正は、苛立ちを露にしている。

いずれも冷静とは言えない状況で、タバコをふかしている校長だけが真意を悟らせない笑みを浮かべていた。

「それで？ いったいどういう了見で我々を集めたのでしょうか？」

「……君たちに調べてもらいたいことがあるましてねえ。本来であれば夜光君に聞きたかったのですが、死んでしまったのでね」

「ふっざけんなッ!!!」

計正の怒号が響いた。それを見てタバコをふかせる老人がため息をついた。凜は呆然としたまま心ここにあらずだが、有栖は確かな嫌

悪感を抱いた。しかし、それを態度に出すことはない。結果、残った1名が険悪な雰囲気醸し出している。

「何を怒っているのですかねえ？人死になど珍しくもないでしょう」「お前たちがそれを口にすんのかッ！俺らは家畜でも実験動物でもないんだぞッ！」

「知っていますよ。君たちは貴重な道具だ。だから、壊れても直せるように設備を整えているし、娯楽だって提供している。私としても心苦しいのですよ？彼は使える道具でした」

ブチッ！何か切れる音がして、計正が弾丸のように校長に飛び掛かった。しかし、校長に到達する前に有栖によって叩き落されてしまう。床に叩き落された計正は血走った眼で有栖を睥睨した。

「何で止めるッ！有栖！」

「君らしくもない。今日はよくしゃべるじゃないか。ジnkスを破つてまで、吠える必要があるのかい？わかってるだろう？彼を殺しても何も解決しないよ。明日には新たな国の役人が、あの席に座って我々を消費し続けるんだ」

有栖の声はどこまでの平坦で、声色には一切熱がこもっていないかった。その様子に満足げな表情を浮かべる校長。舌打ちをする少年、無反応の凜…………室内の状況は正しくカオスだった。

「チッ！クソ……………」

「話を続けましょうか。我々に頼みたいことは？」

「…………君たち以外にも声はかけるつもりですが、とある魔物の調査を行ってもらいたいですよ。限りなく人間に近い見た目の魔物」

弾かれた様に凜は、視線を上げた。校長は目を細める。

「やはり、君たちを襲ったのはR—TEOTBか。まさかとは思ったがねえ」

「R—TEOTB？」

聞きなれない言葉に有栖は、小首をかしげた。

「…………そういう仮の名前が付けられた未確認の魔物ですよ。こいつは10年前に一度だけ姿が確認された魔物でね？横浜奪還作戦にも参加していた歴戦のサバイバーを瞬殺したとされている。証拠は画

質の悪いカメラに映った映像だけでね。当時は英雄扱いされていたメンバーの突然の死に魔物が関わっていたと公表するわけにもいかず、公式には存在しないということになっていたのです」

「なっていた……」

「そう、公式には発表しないが最近になって目撃情報が増えてきたしいですね。今月だけで、10件以上が目撃されています。学園の死者数も今月だけ異様に高いのだよねえ。いやはや、怖い話だ」

「話が見えてこないのですが」

ほんの少しだけ、有栖の声色に苛立ちの色が乗る。それに気が付いた校長は皮肉気に笑った。

「……………聡明で優秀な君らしくない現実逃避だねえ。やはりここにいる仲間は君にとっても特別か」

「……………」

「夕風夜光が自由任務を受ける前に、校長室に予備の武器と装備を置いていったのだよ。もう俺には必要のないものだからと言ってね」

「ッ!?!」

有栖よりも早く、その言葉に反応したのは凜だった。混乱しており言葉には出していないが、表情には恐怖と嫌悪と苛立ちが漏れ出ていた。

「自由任務自体に怪しい点は見受けられなかった。『三頭牛』を狩ってくることだけ。だとすると、彼の行動はあまりにも不自然だとは思わないかね？まるで自分が死ぬことを予期していたみたいじゃないか」

それでもそんな状況をスルーして、話を進める校長に有栖が食って掛かった。この場に凜がいなければ、冷静でいられたであろう。しかし、彼女が予想した話の結末は凜にとってはあまりにも酷で、有栖は初めて動揺し取り乱した。

「ッ！ありえないでしょう。夜光はバカで変態でネガティブな男ですが、この学園にあっても優しさや思いやりを忘れない男です。それに彼は優秀だ。あの男が死ぬとわかっている危険地帯に、凜を連れていくことなどありえないでしょう」

「……………それが国からの強制任務であつたら？そこに彼女を連れて行

くという指示があつたらどうでしょう？過去一度だけ似たようなことがありましたよねえ？あの時彼は、条件を無視して単独で任務に臨み無理やり成功させましたが、その後かなりのペナルティーを受けた………ご存じでしょうか？」

「……………」

二人は黙りこくった。凜はあまりにも大きすぎる感情を処理しきれていないのか、能面のように表情を凍らせて人形のように微動だにできなかった。

「この学園の学生に下される強制任務は基本的に校長である私を通して伝令される。ただし、機密性の高い任務及び現総理の派閥とは違う人間が関わっている場合は別です」

彼はこう言っているのだ。夜光は一枚岩ではない国の無茶苦茶な強制任務を受けていたのではないかと。

「仮にも私はこの学園の校長ですからねえ。夜光君の性格はわかっています。1年生の死亡率を憂慮して、1年生の引率を買って出るような男です。大柵君は夜光君以上の使い手だ」

校長の言葉が毒のようにしみこんでいく。

「そして、彼が全幅の信頼を預けていた人物でもある」

徐々に徐々に。

「私が全力で調査しても中々尻尾がつかめないのです。かなり影響力のある人物が関与しているでしょう。それこそ、いつか自分が消される可能性を考えるほどにね」

「やめたまえ」

有栖が口をはさむ。しかし、校長の演説するような考察は止まらない。

「おそらく彼は、大柵君に助けてほしかったのでは？彼は——」

その先の言葉は放たれなかった。拘束から抜け出した計正が校長を殴り飛ばしたからだ。寸でのところで有栖が止めに入ったため、威力はかなり殺されていたがそれでもなお痛みを想像させるのに容易い類の鈍い音が響いた。

「どうして止めるッ!？」

歯ぎしりをして凶悪な野生を迸らせる少年は、語気を強めて有栖を突き飛ばす。

「少し、黙りたまえ」

「ッ!？」

怒りに燃える少年は有栖の様子を見て、悔し気に唇をかんで黙り込んだ。有栖の全身は怒りのために爪の先まで青白くなって、抑えつけても抑えつけてもぶるぶると震えていたからだ。

「凜も今は大人しくしていたまえ。自分の感情に整理をつけずに暴れても意味はない」

有栖は凜に釘を刺した。静まり返った室内で二人は僅かな距離を残して眼差しを絡める。少女たちの間で可視化できない魔力が空間を音もなく浸食し始めた。

「凜、お願いだ」

「……………」

この部屋の中で一番感情を吐き出していないのは自分であるが、一番爆発寸前なのは凜だと確信していた。

「どうにもきな臭いのですよねえ…最近。研究庁の奴らも動きが怪しすぎる。ですが、私個人で調査をするのは不可能です。なにせか弱い一般市民ですからねえ」

「だから、我々に白羽の矢が立ったと」

口の中を切ったのだろう。校長は苦痛に脂汗を流して、話を切り上げようとした。

「……………任務の件ですが、私個人の依頼で動いてもらうわけですから、できる範囲では協力いたしますよ。報酬も格別なものを用意いたします。例えば……………夜光君に強制任務を出した奴らをこの場に引きずってくるとか、ね」

「細かい話は後日にしましょう。すぐに治療した方がよさそうだからね」

有栖は無理やり話を終わらせて校長室から凜を連れ出した。その様子を見ている校長の目には冒瀆的な狂気が宿っていた。

第5話

シヨタとお姉さんと行く！日帰り遊園地！～会話が無くして地獄ですの巻き～

1：いつち

助けてくれ

2：名無しの転生者

相変わらず急展開が過ぎる

3：名無しの転生者

は？イツチ、お姉さんとデートとか殺すぞ

4：名無しの転生者

殺意高くて草

5：名無しの転生者

なお、シヨタが同伴している模様

6：名無しの転生者

ほぼ初対面と遊園地はやばい

7：名無しの転生者

とりま、安価は成功した？

8：名無しの転生者

草

9：いつち

安価は成功した。結果、銀白髪ちゃんとシヨタと一緒に遊園地に来ている

10：名無しの転生者

どういうことだってばよw

11：名無しの転生者

安価の結果、デートか。何で？

12：名無しの転生者

安価をすれば、お姉さんとデートできるのか。安価は正義！はつきりわかんだね

13：名無しの転生者

安価してくる

14：名無しの転生者

シヨタ付きだぞ？考え直せ

15：名無しの転生者

落ち着け

16：名無しの転生者

は？シヨタが付いてくるんだぞ？お得だろ？

17：名無しの転生者

通報して

18：名無しの転生者

した

19：いつち

ネタバレすると、遊園地には調査できている。

20：名無しの転生者

サバイバーを保護するためか

21：いつち

そう、遊園地のパレードの担当者の中に一般人にはできない動きの奴がいたらしくて、サバイバーだと国につかまって学園か研究所にドナドナされるから、保護してきてくれという指示だね。ワイ的には、サバイバーじゃなくて動きがすごい一般人であつてほしい。そして、一刻も早く帰りたい。空気が重い。しんどい。美女と一緒になのに、泣きそうだ。

22：名無しの転生者

そんなにか

23：名無しの転生者

信用できるか微妙な相手と遊園地に来ているんだろ？普通の反応では？

24：名無しの転生者

何処の遊園地に行ってるんだ

25：いつち

ハハッ！

26：名無しの転生者
あつ

27：名無しの転生者
それ以上はいけない。消されるぞ

28：名無しの転生者
遊園地あるんだな

29：名無しの転生者
遊園地がない世界に転生した奴もいるのか？

30：名無しの転生者
異世界組とかはそうだろ

31：名無しの転生者
俺なんてSF宇宙だぞ。娯楽少なくて、泣きそうや

32：名無しの転生者
それより、安価の時間だぞ

33：名無しの転生者
そうだな

34：名無しの転生者
任せろ！俺たちが救ってやるさ

35：いっち
あー、しんどいんだから頼むぜ？

待ち時間にする最適な話題について
>>50

36：名無しの転生者
スリーサイズ

37：名無しの転生者
スリーサイズ

38：名無しの転生者
スリーサイズ

39：名無しの転生者
スリーサイズ

40：名無しの転生者
スリーサイズ

41：名無しの転生者

欲望という名の怪物だなw

42：名無しの転生者

ここにはゴ布林しかいないのか？w

43：名無しの転生者

イッチに対する殺意が高い

44：名無しの転生者

年下は好きですか

45：名無しの転生者

いつから、サバイバーなのか？

46：名無しの転生者

ぶっちゃけ、俺のことどう思っている？

47：名無しの転生者

遊園地つてきたことあるか？

48：名無しの転生者

前回の件に対する謝罪

49：名無しの転生者

無難に興味とか聞いたら？シヨタ君も合わせて聞けば、時間もつづ
れて解決やろ

50：名無しの転生者

趣味とか、自己紹介とか？あとは、銀白髪ちゃんのが可愛いところを列
挙しろ……最後にスリーサイズ

51：名無しの転生者

処女ですか？

52：名無しの転生者

今夜一緒に夜のパーティーしません？

53：名無しの転生者

もう一回ナンパしろ

54：名無しの転生者
変態しかないのか？

55：名無しの転生者
ナンパした日のこと

56：いつち

ああああああああああああああああああああ！安価は悪い文明！破壊する！！

57：名無しの転生者

だが断る！

58：名無しの転生者

諦めろ

59：名無しの転生者

安価じゃなくて、スレ民が悪いんやで

60：名無しの転生者

まだ、マシな方やぞ

61：名無しの転生者

イツチ、次の報告が楽しみやなッ！

62：名無しの転生者

期待して待ってるで

63：名無しの転生者

絶対会話になるだろ？これなら

64：名無しの転生者

これ以降、口きいてくれなさそうだけどな

65：名無しの転生者

イツチは話題が提供される。俺たちは、スリーサイズを聞ける。ついでにイツチの苦しむ様子も見れる。ウインウインやな

66：いつち

辞書買ってこいや

67：名無しの転生者

好きな異性のタイプとかじゃなくて、助かったな

68：名無しの転生者

経験人数とか知りたいと思わないか？

69：名無しの転生者

それは知りたくない

70：名無しの転生者

これだからユニコーンは面倒なんだ

71：名無しの転生者

は？

72：名無しの転生者

何だと？

73：名無しの転生者

戦争だな

74：いつち

別のところでやれ

75：名無しの転生者

イツチのコミュ力に懸かってるな

76：名無しの転生者

こんな時から入れる保険があるんですか!?

117：いつち

ただいま

118：名無しの転生者

お！お帰りやで

119：名無しの転生者

流星に早くね？

120：名無しの転生者

それで？スリーサイズは？

121：名無しの転生者

待ってました、スリーサイズは？

122：名無しの転生者

はよ、スリーサイズの報告

123：名無しの転生者

あくしろ

124：いつち

えー、会話は出来ました。多少は仲良くなった気がしてる。けど、スリーサイズについては何の成果も得られませんでしたッ！

125：名無しの転生者

は？

126：名無しの転生者

はー、使つかえ。ファン止めるぞ？

127：名無しの転生者

やる気なくなっただわ、ペツ！

128：名無しの転生者

まあ、しやーない

129：名無しの転生者

切り替えていけ

130：いつち

スリーサイズのこと聞いたら、ちよつと機嫌悪くなって席外してる。残ったシヨタと会話していたら、中々面白い子でシヨタとは結構仲良くなれたと思う。

銀白髪ちゃんの好感度は60でシヨタが75くらいかなあ。

これからパレードを見に行くから、実況するで！

131：名無しの転生者

そういえば、パレード見に来たんやもんな

132：名無しの転生者

パレードとか一回も見に行っただことねえな

133：名無しの転生者

え？ボツチですやんw

134：いつち

いやあ、美女と一緒にパレード見るとか役得過ぎてスマンw

135：名無しの転生者

急に調子乗りやがった

136：名無しの転生者

なお、シヨタが同行する模様なのですが、それは

137：名無しの転生者

機嫌の悪い美女とパレード見るんか

138：名無しの転生者

殺すぞ

139：名無しの転生者

俺たちも実況を聞いているから、実質俺たちも美女とパレードを見ている？

140：名無しの転生者

それはそう

141：名無しの転生者

そうはならないだろ……

142：名無しの転生者

イツチ、実況もいいけど安価しないとまずいんじゃないか？

143：名無しの転生者

スレを開いたら、安価しないとイケないもんな

144：いつち

パレードは何を中心に実況する？

>>150

145：名無しの転生者

やつぱり、イツチの様子を見れないの残念だな

146：名無しの転生者

自分の記憶を画像として掲示板にアップできる転生特典を持っていたやつのスレは盛り上がったもんなw

147：名無しの転生者

銀白髪

148：名無しの転生者

シヨタ

149：名無しの転生者

演者

150：名無しの転生者

全体的に

151：名無しの転生者

シヨタ

152：名無しの転生者

銀白髪ちゃん

153：名無しの転生者

雑な安価だなw

154：名無しの転生者

イツチめんどくさくなってるない？

灰色の雲が太陽の光を食い止めている。世をあげて太陽のためのお通夜をしているような、陰気な雲が辺りを覆っている。辺りは昼だというのに暗く、人工的な光である蛍光灯が煩わしい。有栖は閑散とした食堂で、一人窓際に佇んでいた。

そこに近づき声をかけるものが、一人だけいた。有栖と同じ制服を着た女子生徒である。

「風邪をひかれますよ。有栖様」

少女は有栖の取り巻きの一人であった。ただ、過ごした年月は長く歳は有栖の一つ下である。

「……………彩夢君、私はこの学園に来てから7年間戦い続けてきた」

「存じ上げております」

「世界の残酷さを知りつつ、それに抗うために行動してきた」

「ええ、貴方がいなければ私も他の生徒も大勢が死んでいました」

「必勝など望むべくもなかった。戦いに絶対などない。だから、私は後輩の育成に力を入れた。私が面倒を見れた後輩の死亡率はグッと下がった。また明日と別れ際に言えるようになった子たちを見るの

がうれしかった」

「……………」

有栖は17歳になった際に後輩の育成に力を入れ始めた。生き残るのに必死だった時代とは違い、強くなった自分は誰かを救える側に成れるはずだと思っていた。しかし、相手は強く強大だった。未だに同世代の人間にも死者が出る。自分だって油断すれば死ぬかもしれない。それでも、見捨てたくはなかったのだ。

勝ち勘定をしている暇があったら一撃でも多く、攻撃を入れ自分が被弾しない様に動く。守るべき相手がそこに居れば、助ける前提で武器を振るってきた。

振り返れば多くのものが、有栖を慕っていた。その中には有栖同様、戦場にあつても他人を助ける度量と志を持つ仲間が増えていた。

特に、夜光達と駆け抜けた泥臭くも輝かしい時間こそ彼女の誇りだった。あの三人が有栖にとって初めて、背中を預けられる存在であつた。

「……………」

遠くで雷鳴が聞こえる。

有栖は慕われている反面、滅多に本心を表に出さないため冷酷だと言われることも多い。

全滅する可能性があれば、冷静に状況を判断し仲間を切り捨てる日もあつた。切り捨てた仲間の死体を見ても、有栖は表情一つ変えなかつた。

そこで後悔をしてみれば誰かを救えなくなるかもしれないから。泣いてしまえば、動揺が周りに広がるから。常に冷静で合理的で信頼できる指示を出せるが故に、救えて来たと知っているから。

「有栖様……………ここには誰もおりませんよ」

そう言いつつも、彩夢は有栖は泣かないことを知っていた。有栖にとって、彩夢は最も長い時間を過ごしてきた後輩だった。だが、有栖にとって最も濃い時間を過ごしてきた人間は彼らである。彩夢は唇を噛む。そして、押し黙る。自分の中にある黒い感情から逃れるために。

雨が降り始めた。窓の外の雨は一定間隔で辺りを濡らしだし、外の冷気に当てられ部屋の中は水族館みたいにひやりとしていた。

「さて、行こうか。確かにここは冷える」

そう言って、歩き出す有栖の笑みはいつも通りだった。

第6話

美しく輝きながらキラキラとした魔法を振りまくフェアリーを先頭に、この遊園地のオリジナルキャラクターたちが、光り輝く乗り物に乗って登場する。音楽を奏で、優雅に時に激しく踊り、観客を光と音の世界に連れていく。

ファンタジーの世界が表現されパレードは進み、音楽が佳境に入った。人気のオリジナルキャラクターの乗ったフロートが登場し、遊園地特有の非現実的な世界にふさわしくにぎやかに、そして温かな雰囲気にも包まれて、ファイナーレに突入する。

一際目立っているあの男が、サバイバーと言われていたスタッフなのだろうか。夜光が横を向くと、鈴はパレードを複雑そうな顔で見ている。七夏は観客と一緒に、手拍子を叩いている。その顔は、年相応に見えた。

「さつきも聞いた気がしますが、遊園地嫌いなんですか？」

「何でそう思うのかしら？」

「楽しそうな顔してないからですよ。鈴さんって、もっと表情豊かなタイプですよ。」

夜光の言葉を肯定することも否定することもなく、鈴はため息を吐いた。

「別に、嫌いではないわ。つまらないことを思い出しちゃうだけ」

「……………そうなんですか」

「……………あつさり引き下がるのね？午前中みたいに、しつこく話しかけてくると思ったけど？」

「聞かれたくないことは聞きませんよ。人に隠したいことは誰にでもあるものですしね」

「そんな気遣いができるなら、女性にスリーサイズを聞くななんて無礼はやめるべきだったわね」

「それは……………すいません」

「……………聞いてもいいかしら？」

「何ですか？」

「君はあの場所に心残りはないの？」

あの場所とはどこかなんて、野暮な質問をする気にはなれなかった。

「置いてきた仲間に思うところはあります。ただ、相棒にとってはあの場所は金を稼ぐ手段としてなくてはならない場所だったし、他の二人も逃げ出そうという提案には乗らなかつたと思います。もちろん、逃げ出せるなら全員で逃げ出したかったけど……それを決行する力が俺には不足していたんですよ」

パレードが終わる。周辺から、拍手が響く。喝采が遊園地内を包み、打ち上げられた花火の轟音が鈴の言葉をかき消した。

「あの男の人、サバイバーだよ」

少し離れたところで、パレードを楽しんでいた七夏がそうつぶやいた。

「そう……じゃあ、行かないといけないわね」

鈴の言葉に夜光は首をかしげる。七夏の手をすんなりと受け入れた鈴に問いかける。

「七夏君を疑うわけじゃないけど、あっさりと判断しすぎじゃないか？」

「…確かに、私たちが見ているだけじゃ判断はつかないでしょうね。でも、七夏が視たのなら判断が付くわ」

夜光の疑問は深まるばかりである。いったいどういうことなんだろう？ 夜光の顔にそう書いてあったのだろうか。鈴は少し笑った後に、付け加える。

「七夏の眼は特別でね、人の魔力が見えるの」

夜光の視線が七夏に向く。七夏はその視線に気が付き、コクリと首肯して見せた。

サバイバー以外には魔力は宿らないし、感じることもできない。一般人とサバイバーの最大の違いは、魔力の有無である。仮に、魔力を纏っている者を見ることができるのであれば判断は可能だった。

「……………七夏君は生まれた時から能力が使えた先天型か」

「……………そう。だから、僕が連れてこられた」

「で、どうするんだ？接触するんだろ？」

「ええ、そろそろ閉園の時間だしスタッフルームに忍び込むわ」

400：いつち

というわけで今スタッフがいきそうな建物らしきところに乗り込んだところなんだけど

401：名無しの転生者

待て、どうやって乗り込んだんだ？

402：名無しの転生者

関係者以外立ち入り禁止だろ？

403：名無しの転生者

どういうことだってばよ

404：いつち

他の方にはちよつとだけ横になつてもらいました。大丈夫、寝てもらったのは3人だけだから。何が起こったのかもわかってないはずだよ。

405：名無しの転生者

暴力！やはり暴力はすべてを解決したってこと？

406：いつち

あー、うん、はい。

407：名無しの転生者

はいじゃないが

408：名無しの転生者

いつかやると思っていました

409：名無しの転生者
通報した

410：名無しの転生者
イッチ最低だぞ

411：名無しの転生者
一般人に手を上げるのか？

412：いっち
待ってくれ。手を出したのはワイじゃない。銀白髪ちゃんや

413：名無しの転生者
ま？

414：名無しの転生者
流れ変わったな

415：名無しの転生者
それは仕方ないな

416：名無しの転生者
美女がやったのなら仕方ないな

417：名無しの転生者
むしろご褒美では

418：名無しの転生者
脳筋白髪美女か……悪くないな

419：いっち

一応事情がある。控室探してたら、シヨタが執行局の人間を発見したみたいで先を越されないように急いでいる。

420：名無しの転生者

執行局も嗅ぎつけてたってことか

421：名無しの転生者

でも、シヨタがいなければ判別がつかないんじゃないのか？

422：いつち

執行局は怪しいと思ったやつを連行して、再検査を受けさせている。で、そこで発覚すると研究所か学園にドナドナされるらしい。

423：名無しの転生者

なるほど。どちらにしても、先に確保しないといけないわけだな。

424：名無しの転生者

それ危険じゃん？執行局と鉢合わせたら、イツチのこともバレる訳だろ？

425：いつち

大丈夫、正確に顔を認識できなくする道具を持つてるから。一応変装もしてる。それでもだめなら、執行局の人間には退場してもらおう。

426：名無しの転生者

命がけの戦場から逃げたくてここに来たはずなのに。また戦いに身を投じてるんだなw

427：いつち

大丈夫。不意打ちすれば戦いにはならない。それに、魔物に比べればしょせん人間なんて可愛いものだぞ。

428：名無しの転生者

やはり、イツチも脳筋なのでは？ボブは訝しんだ

429：名無しの転生者

悪役のセリフなんだよなあ

430：名無しの転生者

しよせん人間とか言い出しちやったよ、この人

431：いつち

あ………

432：名無しの転生者
？

433：名無しの転生者
何が起こったんだ？

434：名無しの転生者
イツチ？

435：名無しの転生者
死んだか？

436：名無しの転生者
応答しろ

437：いつち
控室はもぬけの殻、争った形跡あり。クエスト失敗！閉廷
!!!!!!

438：名無しの転生者
コオレはやらかし

439：名無しの転生者
やっちまったな

440：名無しの転生者
草ですわ

441：名無しの転生者

銀白髪ちゃんの反応は？

442：いつち

血相を変えて追いかけていった。シヨタとワイは守衛室に行つて園内の監視カメラの映像を差し替えてから、追うことになった。

443：名無しの転生者

そんなことできるのか？

444：名無しの転生者

結構すごい技術じゃね？

445：名無しの転生者

シヨタがすごいのか、イツチがすごいのか。いや、イツチがすごいわけないな

446：名無しの転生者

シヨタ実は天才か

447：いつち

シヨタはできる子だけど、差し替えプログラムは別物。高身長イケメンのボスから渡された。

448：名無しの転生者

はー、なんでもできるな。

449：名無しの転生者

神は二物を与えたのか

450：名無しの転生者

何やってんだあの神、いい加減仕事して

451：名無しの転生者

おお、神は死んだ！

452：名無しの転生者

いや、生きてただろ。あのろくでなし

453：名無しの転生者

まあ、俺たちもある意味二物どころか三物も与えられてるからなあ

454：名無しの転生者

二物じゃなくて荷物では？

455：名無しの転生者

草

456：名無しの転生者

誰がうまいこと言えと

457：いつち

皆さんー、朗報です！敵さんとエンカウントしましたあ
!!!!!!

458：名無しの転生者

草

459：名無しの転生者

草

460：名無しの転生者

草

461：名無しの転生者

綺麗なフラグ回収でしたね

462：名無しの転生者

鮮やかなフラグ回収、俺じゃなきや見逃しちゃうぜ

463：名無しの転生者

つてことはイッチ、戦うのか

464：いっち

いや、まだ俺たちがサバイバーだとは知られてない。閉園時間ギリギリになって慌てて帰ろうとしてる兄弟に見えているらしい。銀白髪ちゃんが他の執行局の人間とエンカウントして、戦闘になってるんだと思う。だから、戦闘に巻き込まれない様に避難誘導している感じだな。スタッフじゃないのに、裏門から帰ってくださいって案内してるから。

465：名無しの転生者

なるほど………ところでイッチよ。安価がまだだよな？

466：名無しの転生者

厳密にはスレを閉じてないから、もうしなくてもいいんだろうけど。成功率は上げたいよね？

467：名無しの転生者

腹をくくる時間やで

468：名無しの転生者

安価！安価！安価！安価！

469：名無しの転生者

もし、ここで銀白髪ちゃんを置いて帰ったらイッチのこれからの安
価は地獄になる

470：名無しの転生者

言いたいことは全員同じだよな

471：名無しの転生者

大丈夫だ、イッチ、俺たちが憑いてる！

472：いっち

除霊にいつてこようかな……。銀白髪ちゃんを助ける方法>>

480

473：名無しの転生者

草

474：名無しの転生者

その後自は草

475：名無しの転生者

敵をすべてなぎ倒せ！

476：名無しの転生者

暴力！やはり、暴力はすべてを解決するんだ！

477：名無しの転生者

裏門から出るふりをして奇襲。後は流れで。決め台詞も忘れるな
よ！

478：名無しの転生者

迷子の妹がいるんです！っと泣きつく

479：名無しの転生者
戦え

480：名無しの転生者
狙撃

481：名無しの転生者
姉とはぐれたままなんです！一緒に探してくれませんか？って
言って、油断させたところを攻撃。後は流れ

482：いつち
そ、狙撃？

483：名無しの転生者
イツチって狙撃得意なんよな？なら、外から狙撃で仕留めるのが
カツコええろ

484：名無しの転生者
あー、そんな設定もあつたなあ
485：いつち

狙撃銃がないんですが、それは（困惑）

「なあ、七夏君さ……狙撃銃とか持ってたりする？」
夜光はダメ元で聞いてみた。

「持っているけど」

「だよなー流石に持ってないよな……え!?持ってるの?」
「うん」

第7話

金属同士が衝突する甲高くも鈍い音が遊園地内に響く。

「アカンなー。僕、綺麗なお姉さんには弱いねん。邪魔せんとかくれへん？」

「君が回れ右して帰るなら考えてあげてもいいわ」

執行局の男はヘラヘラとした笑みを浮かべながら、そう言い放つ。それに対する答えは、鈴の戦闘態勢によって示された。

「残念やなあ」

執行局の男：歳は18歳くらいだろう。一般的に見れば若いが、サバイバーにとってはかなり年齢を重ねている方だ。18歳まで生き残り、執行局に引き抜かれるということは驚異的な実力を持っているということである。鈴は、唇を噛みながら刀を構える。

執行局の男は、左上からの振り下ろしを見せ技に、鈴から見て死角になる部分の下から掌底を放つ。狙いは横隔膜。うまく決まれば、多少なりとも動きを鈍らせることが可能である。鈴の顔に一瞬よぎった驚愕を確かに執行局の男は見たが、鈴はそれを打ち払いながら身を捻る。

「ッー」

結果、男の指は狙いを外し脇腹を浅くかすめるだけになった。男はそれを見た瞬間に、体を半回転させ手のひらを脇下に押し当てる。足を鈴の踵に絡めつつ肩には全力をかけ、投げ飛ばそうとするが、見事な体捌きによってそれをいなされた。

再び距離を取り刀をぶつけ合う。噛み合う刃と刃はそのままに、男の大ぶりの右膝が鈴の腰を狙ってくる。鈴は慌てて身を引いて回避。それを狙っていた執行局の男つま先をひっかけられた。

「あつ——」

剣が遂に鈴を捉えた。弾き飛ばされる鈴を油断なく見ながら、執行局の男は薄く笑った。

「素直な剣やね。せやけどそれじゃあ、経験豊富な相手には勝たれへんし。研ぎ澄まされとるわけでもなく、素直なだけの模範通りの剣。

それ止まりじや、全然足りひんわ」

「…余裕ね」

「実際、余裕やからね……あんまり時間をかけられないし、終わらせんとなあ」

男が笑った瞬間、鈴の身体から鮮血が舞った。

「ッ!？」

驚きと痛みに呻く鈴を見て、男は笑みを深めた。

「何が……」

何が起こったのか？ 鈴のその疑問に答えたのは、流動する銀閃だった。鈴が蹲っている場所は、執行局の男から見てかなり距離がある。男は一步も動いておらず、鈴は血を流し蹲っている。

その答えは、男の刀から延びる銀色の物質だった。先ほどまで伸びていた刀身は、液体金属のようにドロドロになっっている。それでいて、スライムやゴムのようにも見える。ただ、一つ確実なのはそれを鞭のように扱い、男は彼女に傷をつけたのだった。

「流刀銀傘っていうらしいで。僕の武器エンチャンターは。効果は見ての通り、伸縮自在の鞭のように変化して相手を斬る。単純やろ？ 光ったりビーム出したり、空を飛べたりもせえへんよ。ただ、攻撃のレンジを弄れるだけの武器や。大したことないやろ？」

大したことあるだろ……。スレ民がいればそんな意見が出たはずだ。近接戦において、攻撃のレンジを変幻自在にできるということは、かなりの脅威だ。それなりに経験を積んだサバイバーであれば、対処はできただろう。しかし、戦場から長く離れているサバイバーにとっては初見で対処するのは困難だったのだ。

相手も悪かった。軽薄さと胡散臭さからできているような男ではあるが、執行局員として戦うに足る技量の持ち主だったのだ。

「鞭の扱いは難しいというけれど、相手にすると脅威そのものね」

「魔物相手には大して使えないんやけどね。人間相手には驚くほど有用やねん」

「……………気になってたんだけど、君のそのちゃんぽん弁何とかならないのかしら？」

時間稼ぎのために鈴はそんなことを口にする。男はポカンとした後、薄く笑った。

「元々は標準語で喋ってたんやけど、友人からのプレゼントちゅうやつでな？ 無碍にはできんかってん」

「あつそ」

「……………それじゃあ、まあ、おしまいの時間やで」

男が流刀を振るった。鞭のような刃が銀閃を描く。鈴は辛うじてそれを迎撃する。それは言い表すのであれば凶刃の嵐。金属のぶつかり合う嫌な音が響き、鈴がバランスを崩したのを見て男が距離を詰め、強烈な斬撃を食らわせる。

辛うじて鈴は殺意を受け止めも、相手の膂力を殺しきれずそのまま吹き飛ばされた。

「ぐっ！」

すかさず、男は刀を変形させて追撃を仕掛ける。刃が鈴を無残に切り裂く、誰もがそう確信した瞬間——赤い閃光が銀閃を撃ち落とした。

「え？ は？！」

驚愕に固まる男の胴体に、赤い閃光が迫りそれを紙一重で躲した男は誘われたことに気が付いた。

男の目の前には別の赤い光弾が迫っていたからだ。両足と武器を保持している腕を正確に撃ち抜かれ、バランスを崩した男は痛む体に鞭を打って柱の背後に隠れた。

（狙撃やと!? 場所はあるのビルやろか？ 400ヤード程度しか離れておらんにしても、ありえへんやろ……………。あの距離から高速で動いとる流刀を叩き落したっていうんか？ その上、僕の両脚と利き腕を正確に撃ち抜く？ 油断しとったとは言っても、ありえへん。そんなアホくさい狙撃ができる奴なんて……………）

武器を落とす、両足を痛めた焦りから思考が散乱し始めていた男の心理状態を把握したかのように、スナイパーは笑ってスコープを覗き込んでいた。

497：いつち

安全圏から相手を一方的に、ボコれる狙撃手気持ちイイイ！最高ですわー

498：名無しの転生者

草

499：名無しの転生者

狙撃手に謝れよ

500：名無しの転生者

イツチが最低すぎるので、ファン止めますね

501：名無しの転生者

というか早く現状報告しろ

502：名無しの転生者

いつものw

503：名無しの転生者

狙撃銃マジで手に入れられたのか（困惑）

504：いつち

イケメンボスがワイ用に用意していた武器らしい。もしもの時を考えて、車に積んであった。で、それを持って少し離れた高層マンションに不法侵入。屋上まで駆け上がって、狙撃してる。今、銀白髪ちゃんが追い詰められて、ボロボロだったから相手の男の攻撃を叩き落して、ついでに両脚と腕に弾丸ぶち込んでやった。

505：名無しの転生者

狙撃銃が偶々あるって無理あるだろ……。イケメンボスこの状況を読んでた？

506：名無しの転生者

イツチの三番目の特典って、人工的にご都合主義を錬成できるのか？

507：名無しの転生者

>>>506

それな！安価をしたから、狙撃銃が手に入ったのでは？ボブは訝しんだ

508：名無しの転生者

だとしたら、チートなんてもんじゃないぞ？

509：名無しの転生者

安価実行のための補正扱いで、主人公補正が付くってことか？

510：名無しの転生者

勝ったな、風呂入ってくる

511：名無しの転生者

それは勝ちだな、風呂入ってくるぜ

512：名無しの転生者

流れるような不法侵入、俺でなければ見逃しちゃうね

513：名無しの転生者

イツチの今日の罪状

スタッフルームに不法侵入

暴行

監視カメラのデータ改竄

美女とのデート！

裁判長判決を！

514：名無しの転生者

最後、私怨全開で草

515：名無しの転生者

判決！ 死刑

516：名無しの転生者

美女とのデート羨ましいので

517：名無しの転生者

死刑！

518：名無しの転生者

なおイツチが関与したのは、最後の二つだけっていうね

519：名無しの転生者

イツチの転生特典が、ご都合主義を作り出せるのだとすれば、ライブ配信とかも可能？

520：名無しの転生者

「ガタツ！ 銀白髪ちゃんが見れるってマジ？」

521：名無しの転生者

「イケメンボスが見れるってマジ？」

522：名無しの転生者

「シヨタが見れるってマジ？」

523：名無しの転生者

「猫耳が見れるってマジ？」

524：名無しの転生者

「今すぐ、学園に戻って」

525：名無しの転生者

「猫耳を見せるんだよ、あくしろ」

526：名無しの転生者

「猫耳見れる配信ドコ？」

527：いつち

「見れると決まったわけではないんですが……。とりま、実況続けるぞ？」

528：名無しの転生者

「あくしろ」

529：名無しの転生者

「早く、安価取れ」

530：名無しの転生者
結局どうなったんだ？

531：名無しの転生者
銀白髪の回収は終わった。シヨタが回収して、撤退している。俺は足止めとして敵を狙撃中。壁抜きもできるとか、持つべきものは転生特典だよなあ！ 予測眼万歳！

532：名無しの転生者
当たり転生特典……殺してやりたい

533：名無しの転生者
尿意をなくす能力をもらったワイ、イッチを殺したい

534：名無しの転生者
草

535：名無しの転生者
転生特典ハズレニキ達は強く生きてw

536：名無しの転生者
>>533
尿意をなくすって自分の？

537：名無しの転生者
相手の

538：名無しの転生者
凶悪な能力で草

539：名無しの転生者

投擲したものの軌道を操る能力……新聞、ニュース、人体実験、
ウツ、頭が

540：名無しの転生者

何か、トラウマ刺激されている奴がいますねえ

541：名無しの転生者

怖いですねえ

542：名無しの転生者

とりあえず、安価しよう

543：名無しの転生者

安価！安価！安価！

544：名無しの転生者

今日はもうすることなさそう

545：名無しの転生者

シヨタが銀白髪ちゃん回収したっぽいしな

546：名無しの転生者

あれ？当初の目的は？

547：名無しの転生者

あ

548：名無しの転生者

確かに

549：名無しの転生者

その辺どうなん？

550：名無しの転生者

当初の目的ってなんだっけ？

551：名無しの転生者

サバイバーの可能性がある一般人の調査。サバイバーだった時は、保護だったよな？

552：いつち

あつてる。そして、心配ご無用。シヨタ君が歩くのを補助できるのは銀白髪ちゃんだけ。銀白髪ちゃんは、怪我しているから他の人を背負えない。つまり、気絶している一般人（嘘）は放置されたままなのでした。

553：名無しの転生者

草

554：名無しの転生者

早く回収してやれよ

555：名無しの転生者

それはまずくないか？

556：いつち

敵さんの増援が来ました

557：名無しの転生者

草なんだが

558：いつち

安価します！増援（1人）がワイのいるビルに向かって全力疾走してくる。たぶん、1分で辿り着かれそう。元からいた敵は、制圧完了している。

逃げてもいいですかね？

>>>570

559：名無しの転生者

ダメに決まってるだろ

560：名無しの転生者

狙撃で撃ち落とせ

561：名無しの転生者

1分っておかしくね？

562：名無しの転生者

イッチ、屋上にいるんだよな

563：名無しの転生者

相手人間じゃないだろ

564：名無しの転生者

サバイバーだからなw

565：名無しの転生者

狙撃で撃ち落とせ

566：名無しの転生者

ぎりぎりまで引き付けろ

567：名無しの転生者

狙撃手が近接戦闘できないわけないだろ

568：名無しの転生者

狙撃で迎え撃つしかないだろ

569：名無しの転生者

狙撃しテロ

570：名無しの転生者

逃げてもええんやで

571：名無しの転生者

狙撃で撃ち落とせ

572：名無しの転生者

近接戦しようぜ

573：名無しの転生者

逃げる一択だろ

574：名無しの転生者

近接戦で返り討ちだぜ

575：いつち

やったぜ！逃げます

576：名無しの転生者

それでいいのか!?お前に誉はないんか!?

577：名無しの転生者

誉は………浜で死にましたッ!

578 : 名無しの転生者
結局、一般人君の回収は？ 放置？

第8話

一人旅に行ってくる

1：いっち

おはよう諸君！元気にしてたか？ワイは今、三重で登山をしています

2：名無しの転生者

??????

3：名無しの転生者

相変わらず、急展開が過ぎるぞ

4：名無しの転生者

結局、一般人君はどうなったんだ？

5：名無しの転生者

結構長い間音信不通だったよな？

6：名無しの転生者

時間の流れが世界ごとで違うから何とも言えんがな

7：名無しの転生者

現状報告しろ

8：名無しの転生者

現状報告して

9：いっち

前回の安価から5日ぐらい経ってる。執行局員が撤退した後、一般人君をイケメンボスが回収して、よくわかんないところに連れて行っ

た。なんか、完全に素顔が割れているからしばらく地下生活しないと
日常に溶け込めないとか。

10：名無しの転生者

流石イケメンボス、アフターケアまで万全だな

11：名無しの転生者

恐ろしく速いフォロー、見逃しちゃうぜ

12：名無しの転生者

で？結局、何で山に登ってるんだ？

13：いつち

ボスが狙撃銃以外にも近接武器を手配しておいたんだけど、色々事情があつて今忙しいから自分で取りに行つてくれって言われて伊勢に来た。ちなみに、三重県に来るまでに2日かかっています！さらに付け加えると、予測眼がある人間じゃなければ、三重県までたどり着けないと思う。この世界、都市エリア以外は魔物が闊歩している危険地帯だから護衛なしじゃ移動できないんだよね。で、その中でも執行局や政府の人間すら遠回り過ぎて使いたがらない場所を抜けてきたから時間かかったし、めっちゃめっちゃ魔物がいた。

14：名無しの転生者

何で伊勢なんだ？工場でもあるのか？

15：名無しの転生者

東京から行ったのか…。遠いな。

16：名無しの転生者

>>>13

そういえば、そういう世界だったわ

17：名無しの転生者
一人で行ったのか

18：名無しの転生者
ボスはそんな危険な場所にイツチを行かせたのか……………。

19：いつち

>>14

少し間違ってる。伊勢にはボスの協力者の一族がいて、そこで武器を仕入れているらしい？何か、鎌倉の時代から異能を扱うことができた家らしい。詳しくはわからない。

20：名無しの転生者

イツチの世界って不思議だよな。大穴が空く以前から、特殊な力を使える人間がいた設定なんだもんな。なんかありそう（フラグ）

21：いつち

その一族の住処、凄く特殊な場所にあるらしい。伊勢神宮の中にある階段をサバイバーが昇るといつの間にか山道になって、しばらく登山すると……………あ、いた。

22：名無しの転生者
いた？

23：名無しの転生者
出た？

24：名無しの転生者
何が？

25：名無しの転生者
何がいたんだ？

26：名無しの転生者
おーい、イツチ？

27：いつち
虚無僧がいる

28：名無しの転生者
？

29：名無しの転生者
？

30：名無しの転生者
？

31：名無しの転生者
虚無僧つてあの虚無僧？

32：名無しの転生者
深編笠をかぶって尺八を吹いて托鉢し、修行している奴ら？

33：いつち
そうそう、尺八の代わりに短刀持ってるけど。石の階段の上、大きな鳥居の下で仁王立ちしてる。

34：名無しの転生者
坊主が短刀？

35：いつち

ぜ s r x d t c f y v g h b

!?!?????!?!?!?!!

36：名無しの転生者

どうしたイツチ!?

37：名無しの転生者

イツチさん?

38：名無しの転生者

え?何、バグってんのか?

39：名無しの転生者

この掲示板、思考入力式だぞ?ビックリしたら、
なることもなくはないあるかもだけどないかも
<>>35みたい

40：名無しの転生者

どっちやねん

41：いつち

うわああああああああああああ
!!!!

42：名無しの転生者

イツチイイイイイイイイ

43：名無しの転生者

どうしたんや、イツチ

44：名無しの転生者

はよ、実況して

45：いつち

あの虚無僧、声かける前に斬りつけてきやがったツ！今は距離を取りつつ、虚無僧と追いかけてっこしてる。顔は見えないけど、鬼気迫る様子で短刀を振り回しながら追いかけてくるの怖すぎる。

46：名無しの転生者
草

47：いつち

ワイじゃなければ、首飛んで死んでるで？

48：名無しの転生者
殺意高すぎw

49：名無しの転生者
どうしてそうなったw

50：名無しの転生者
そもそも、何で虚無僧が武器を持っているのか？

51：名無しの転生者
これがわからない

52：いつち
たぶん、門番的な立ち位置なんだと思う。凄いや、どすの利いた声で「っこを通りたくば、力を示せ」って言われたから。

53：名無しの転生者
なる、ほど？

54：いつち

ちなみに切り付けられた左腕が動きませんw

55：名無しの転生者

草生やしてる場合ちやうぞ

56：いつち

予想の三倍くらい強いんだけど、何だあの虚無僧

57：名無しの転生者

安価でなんとかしろ

58：いつち

>>>69

安価しよう、選択式な

『どうかにかしてあの虚無僧を倒して進む』

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

あと、転生特典の可能性を探索する意味で掲示板に画像を張れるかを試したい。それらしい指示を出して>>>81

59：名無しの転生者

大雑把な指示だなw

60：名無しの転生者

安価キター
!!!!!!

61：名無しの転生者

キター——（。▽。）——！

62：名無しの転生者

まずは話し合わないとな、偶にはイッチに優しい安価にしようぜみんな

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

63：名無しの転生者

あ、そうだな

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

64：名無しの転生者

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

65：名無しの転生者

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

66：名無しの転生者

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

67：名無しの転生者

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

68：名無しの転生者

『どうにかしてあの虚無僧を倒して進む』

69：名無しの転生者

『どうにかしてあの虚無僧を倒して進む』

70：名無しの転生者

『どうにかしてあの虚無僧を倒して進む』

71：名無しの転生者

『どうにかしてあの虚無僧を倒して進む』

72：名無しの転生者

『理性的に話して、ボスのお使いできたことを伝える』

73：名無しの転生者

反乱軍がw

74：名無しの転生者

はいチーズって言いながら視界内に収めた光景を画像として掲示
板に貼れ

75：名無しの転生者

瞬きをカメラのシャッターだと思え

76：名無しの転生者

あー、そういう感じか

77：名無しの転生者

目の前の景色をスレに上げろ

78：名無しの転生者

カメラって口にした瞬間の映像をスレに貼れ

79：名無しの転生者

これ実行できなかつたらどうなるんやろ

80：名無しの転生者

頑張って掲示板に光景を貼って

81：名無しの転生者

10秒間視界の中に入れた光景を静止画で貼ってくれ、スレ民が見
れるように

82：名無しの転生者
頑張って貼れ

83：名無しの転生者
掲示板に見ている光景を貼れ

84：いっち

>>69

暴力！やはり暴力がすべてを解決する！ちよつと、余裕なくなつてきたからいったんえw r t yうでいおj

85：名無しの転生者
？

86：名無しの転生者
イツチさん？

87：名無しの転生者
過去一余裕なさそうじゃね？

88：名無しの転生者
イツチイ！

89：名無しの転生者
これ上手くいくんだらうか

90：名無しの転生者
そういえば、何で配信じゃなくて静止画にしたんだろ

91：名無しの転生者
イツチがいなくなつてるから意味ないんだけど、イケメンボスが率

いている組織ってどれくらいの規模なんだろうな

92：名無しの転生者

>>91

これは気になった。

93：名無しの転生者

>>90

俺らのこの掲示板、不確定要素や懸念材料が多いから規模を大きくしたくなかったんじゃないやねえの？

94：名無しの転生者

本来は掲示板に画像を貼ることも配信を行うことも不可能だからな

95：名無しの転生者

頭が爆発した転生者もいるし

96：名無しの転生者

あー、いたな。24時間耐久配信のやつだろ

97：名無しの転生者

一時期話題になった

98：名無しの転生者

なにそれ

117：いつち
ただいま

【画像】

118：名無しの転生者
お！お帰りやで

119：名無しの転生者
おー！安価うまくいつてるやん

120：名無しの転生者
画像が見れる（感動）

121：名無しの転生者
なにこれ？神社？

122：名無しの転生者
とりま、現状の報告して

123：名無しの転生者
画像、キタ——（。△。）——！

124：いつち

現状報告前に、わかったことが一つ。選択形式の安価は、弱い補正しかかかってないかもしれない。かなり、手こずった。

125：名無しの転生者
ほーん（暗黒微笑）

126：名無しの転生者
ワイらの自由の幅が広がったな（あんまり気を落とすなよ）

127：名無しの転生者
イッチが安価を制御するのは無理ということか？

128：名無しの転生者
出来なくはないけど、補正がかからない可能性があるかと？

129：名無しの転生者
かかりにくいのだろうね

130：いつち

現状報告だが……まずはこれを見てくれ。

【画像】（豪華絢爛な和装のようなものを纏った少女が、和室に座っており周囲には無数の呪符が漂っている）

虚無僧を倒した後、鳥居をくぐって境内に入ったんだ。で、一番大きな建物の奥に屋敷みたいのがあったから、近づいたら和服を来た使用人？みたいな女の人が出てきて、用件を聞かれた。事情を説明したら、事情を知っているこの家の当主に会わせるから付いてきてくださいねと言われ、ホイホイ付いて行った。何でも、3年前に代替わりしたらしくて、当主は16歳の少女らしい。そんな説明を受けながら。

一番大きな和室に案内されて、使用人みたいな人とは別れた。なんか、すごい嫌そうな顔して「あそこが当主の部屋です」って言った。

で、襖を開けるとそこには黒髪の美少女が居たんだ。その時の画像が貼ってるやつだな。ワイは、ちよつと前まで虚無僧と戦ってたのを忘れて、黒髪ちゃんをガン見しながら名乗りを上げたんだ。そしたら

——攻撃された。それはもうボコボコにされたわ。予測眼で見た未来に詰んでるものしか出てこなかったのは久しぶりだった。その後に、お札貼られて拘束され、頭を裸足で踏まれながら虚無僧相手にボロボロになるとは情けないみたいなこと言われてる。のじゃろり口調で。

131：名無しの転生者

132：名無しの転生者

133：名無しの転生者

134：名無しの転生者

ご褒美じゃん

135：名無しの転生者

カオスだな

第9話

少女を下から見つめるといふ体験はなかなかできないものである。故に、この体勢も悪いことばかりではない。だって、相手は美少女なのだから。

そんなくだらないことを考えつつ、夜光は目の前の少女に名前を問う。

「名前を教えてもらっても？」

「儂か？儂の名は佐伯玲奈じゃ」

「なら佐伯、そろそろこの足をどかしてくれないか」

「……………そうじゃな。儂と主の実力差は理解できたじやろ。よいぞ」

玲奈は足をどかして、再び定位置である座布団の上に座った。夜光は体を起こし、座布団から少し離れた位置で胡坐をかく。和服もどきも着物もどきで胡坐をかいている玲奈。必然的に、その下半身は魅惑の……………（自主規制）

こうしてみると凄まじい美少女だなと思う。まあ、凜や鈴には及びはしないが。そんなことを考えつつ、夜光は先ほどのことを思い出していた。

『急急如律令』

鈴が鳴るような可憐な声か

ら放たれたその一言ですべてが終わっていた。周囲に漂っていた呪符が一斉に光を放ち、気が付けば夜光は玲奈に組み敷かれていた。否、3秒程度の攻防はあった。だが、一方的なものだった。

「で、佐伯。さっきの発言について聞きたいんだけど」

「言った通りじゃ。お主が受け取りたがっておる武器エンチャンターは渡せん。

『天邪鬼払』を持つには、お主は弱すぎる」

「……………」

苦虫を噛み潰したように、夜光は臍を噛んだ。事実、自分は目の前の少女に触れることすらなく、組み伏せられてしまったからである。しかし、それとこれと話が別だ。

「俺の弱さと武器に何の関係がある？適性がないならまだしも、ボスに武器を渡すという返答をしたんだろ？なら、あまりにも」

「儂が了承したのは、相応しい持ち手に譲渡するという契約であって、無条件で渡すという契約を結んではないぞ」

夜光はフリーズした。行けばすんなりと武器をもらえらると思っていたし、ボスの言葉はそれを示唆していたからだ。……そこまで考え、夜光は一つの可能性に行きついた。ボスは「君の実力ならすぐに武器を手に入れられるだろうさ」と言っていた。これは、夜光の実力なら三重県までの道中で手こずることはそうないだろうという意味だと判断していた。

だが、「君の実力なら目の前の少女を納得させられるだろう」とそういう意味でいったのではないだろうか。

少女は退屈そうに机に置かれている小さな紙に何かを書いている。

「…………あのクソイケメン腹黒、聞いてないぞ…………なるほど、あの虚無僧は腕試しというわけか」

「然り」

「なら、俺が佐伯を倒せるようになれば武器をくれるってわけだな」

「厳密には違うがまあその通りじゃ、ではどうする?」

「ちようどいい修行相手もいるしな。虚無僧相手に経験値稼ぎをしてくるぜ」

ニヤリと獰猛に笑って見せた夜光を見て、玲奈は満足げに笑った。それは美しくも警戒心を含んだ固い笑みであった。

「そうこなくてはな。しばらくはこの屋敷で世話をしよう。存分に力をつけ見事儂を認めさせてみせよ」

「ああ、そのつもりだ」

そう言って部屋を出ようとした夜光を玲奈は呼び止めた。

「そういえばお主、儂に攻撃されたことについて文句を言わなかったの? 前回来た男は、激情を露にして剣を抜いてきたぞ? まあ、儂に触れることもできずに意識を飛ばしたかな」

「…………ああ、そうだな。佐伯が俺を殺す気がないのはわかってたし、美少女の癩癩ぐらい受け止められる男でありたいからな」

夜光の言葉に玲奈は虚を突かれたような顔をし、一転して笑い声をあげた。

「クハハハハハハハ！お主変わっておるのお」

「お褒めに預かり光栄ですよ」

「泊まる部屋は使用人が案内する故、突き当りの部屋を訪ねよ」

そんな言葉を受け部屋を後にした。縁側の向こうにある中庭は先ほどまでの喧騒など感じさせぬほど穏やかで、午後のきつめの日差しが石畳を照らしているだけだった。

300：いつち

ってなわけで、虚無僧と戦闘して勘を取り戻しつつ、黒髪ちゃんを倒すために情報収集をしているのです。

301：名無しの転生者
なるほど

302：名無しの転生者
その話を聞くのは三回目だ

303：名無しの転生者
最初にその話をしてから何日たった？

304：いつち
………7日です

305：名無しの転生者
そうだな

306：名無しの転生者
かかりすぎなんよな

307：名無しの転生者
安価してもボコボコにされてるもんな

308：名無しの転生者
黒髪ちゃんは倒せないままだけど、虚無僧とは仲良くなったらしい
じゃん

309：名無しの転生者
一回も顔見たことないけどな

310：名無しの転生者
風呂上りでも顔隠してる画像見て、目を疑ったわ

311：名無しの転生者
絶対傘の中蒸れるだろ……

312：いつち

>>307

>>308

だつて勝てないんだよツ！おかしいだろ？通算、10回のアタックで黒髪ちゃんに触れることができた回数は1回こっきり。後は、30秒も経たずして制圧されているんだ。未だに黒髪ちゃんの武器の能力もわからないんだぜ！虚無僧に聞いても使用人に聞いてもそれだけは答えてもらえないし、じゃあ何か弱点解かないんですかって聞いたら使用人は「毒でも盛りますか？喜んでご協力いたしますよ？この毒なんていかがでしょう」って怖いこというし！虚無僧は「ソレヲミツケルノガ、キコウノヤクメダ」って無茶ぶりだしよ。負ける度に、黒

髪ちゃんに踏まされ煽られて、新しい扉が開きそうで怖いわ！ワイはもう限界だ！

313：名無しの転生者
草

314：名無しの転生者
草

315：名無しの転生者
使用人の闇が深そうで怖い

316：名無しの転生者
わかったことだけ並べろ

317：名無しの転生者
一回落ち着けw

318：いつち
>>>316

黒髪ちゃんの苗字は佐伯。武器はよくわからない呪符…かなあ。呪符に書かれている文字によって、起こる現象が変わる。『雷』とかだったら、辺り一帯に電撃が走る。『雷撃』だったら、一直線に電撃が飛んでくる。呪符は今のところ100枚以上あると思う。最近の戦法は、『雷撃』で俺の動きを制限、『目くらまし』と『音爆』で足を止めて、『縛鎖』で拘束する。最後に、『痛み』で頬を染めながら俺を攻撃してくる。

黒髪ちゃんの家について：ボスの言う通り、かなり歴史のある家っぽい。3年前までは祖父が当主を務めてて、鎌倉とか平安時代は陰陽師の真似事をしていたらしい。最近は神社の催事とかに協力しているらしい。ちよつと意味わからないくらい金がある。出所はわから

ん。

黒髪ちゃんご本人：性格わるわるっというか結構S入っている気がする。違和感あるけどね。顔だけはいい。同級生を思い出す。本人は普段、学校に行きつつバイトで巫女をしているらしい。（今は夏休みだから家にいる）

虚無僧：傘が熱そう。風呂場でも外さない。

使用人：意味わからんくらい黒髪ちゃんのこと嫌いだよね？君。ワイが話しかけると7割は黒髪ちゃんが悪口言ってきた。曰く、佐伯家始まって以来の出来損ないだとか。恩知らずだとか言われてた。

319：名無しの転生者

情報量が多い

320：名無しの転生者

下手な小説の設定集かってぐらい多い

321：名無しの転生者

黒髪、美少女、ドS……………フフツ

322：名無しの転生者

>>321通報した

323：名無しの転生者

クオレは、フェチですね

324：名無しの転生者

好きです（真顔）

325：名無しの転生者

俺も踏みたいです（真剣）

326：名無しの転生者
闇が深そうで抜ける

327：名無しの転生者
黒髪ちゃん、世界観違くない？

328：名無しの転生者
完全に陰陽師の世界観やん

329：名無しの転生者
毎回、靴下を脱いで裸足で踏んでくることにこだわりを感じます

330：名無しの転生者
静止画をあげられるようになったのに、イチチがアップしたのは虚無僧の風呂上りと使用人の顔芸と黒髪ちゃんの踏み踏みタイムの写真だけというな……もつと、黒髪ちゃんの写真上げろ

331：名無しの転生者
冷静に黒髪ちゃんに踏まれながら、画像を上げるあたりイチチも大概だよな

332：名無しの転生者
学校行きつつ巫女の仕事だと？属性過多ですね、ありがとうござい
ます

333：名無しの転生者
イチチは変態、それでよいな？

334：いつち

>>331

でも、逆の立場ならそうするやろ？

335：名無しの転生者

>>334 当たり前だが？

336：名無しの転生者

うーん、この：

337：名無しの転生者

思ったんだが、別に正面切って勝つ必要はないのでは？

338：名無しの転生者

草

339：名無しの転生者

？

340：名無しの転生者

どういうことだ？

341：名無しの転生者

説明

342：名無しの転生者

要するに黒髪ちゃんの許可があればいいんだろ？黒髪ちゃんを攻略して落とせばいいのでは？

343：名無しの転生者

なるほど

344：名無しの転生者

ギャルゲー始まったな

345：名無しの転生者
ギャルゲーが始まった

346：名無しの転生者
なるほど！選択肢は安価ですね！

347：名無しの転生者
お、そうだな（便乗）

348：名無しの転生者
そううまくいくか？

349：名無しの転生者
黒髪ちゃんを組み伏せるのか（意味深）

350：名無しの転生者
燃えてきましたわね

351：名無しの転生者
安価しろ

352：名無しの転生者
安価しろ

353：名無しの転生者
安価しろ

354：いつち

黒髪ちゃん、警戒心が何気に高いので下手な選択肢を選ぶとワイが殺されかねないんですがそれは

355：名無しの転生者
大丈夫だ

356：名無しの転生者
イッチならできさ

357：名無しの転生者
わあ、なんて優しい世界なんだあ（白目）

358：名無しの転生者
さあ、安価しろ

359：いっち
黒髪ちゃんをデートに誘う方法＜＞380

360：名無しの転生者
なんだかんだ言いつつ、結局安価するイッチ好きやで？

361：名無しの転生者
＜＞＜＞360
男のツンデレはダメだろ

362：名無しの転生者
（需要がほぼほぼ）ないです

363：名無しの転生者
ネキかもしれないだろ！

364：名無しの転生者
あ、TSしてるんで

365：名無しの転生者

おい

366：名無しの転生者

APPは？

367：名無しの転生者

画像上げろ

368：名無しの転生者

話題が逸れ過ぎなんだよなあ

369：名無しの転生者

何気にすぐに少女をデートに誘う……………イッチ慣れているのか？
ボブは訝しんだ

370：名無しの転生者

普通に観光案内してもらえば？

371：名無しの転生者

散歩に付き合ってほしいんだけど

372：名無しの転生者

何とかしてイケメンムーブする

373：名無しの転生者

イケメンボスに電話して聞く

374：名無しの転生者

普通に観光案内でいいでしょ

375：名無しの転生者

「旨いもの食べに行きたいんだけど、この辺疎いから教えてくれない？奢るよ？」

376：名無しの転生者

リフレツシュに行きたいから付き合ってくれ

377：名無しの転生者

よう引きこもり姫！外行くぞ！外。案内はお前な！

378：名無しの転生者

デートしにいこ

379：名無しの転生者

付き合ってください

380：名無しの転生者

付き合ってください！

381：名無しの転生者

観光案内を頼む

382：名無しの転生者

みんなで出かけようぜ

383：名無しの転生者

………これは

384：いつち

え？何、ワイこれを黒髪ちゃんに言うの？正気か？何が起こるかわ

からんぞ

385 : 名無しの転生者
楽しくなってきたな

386 : 名無しの転生者
どっちの意味にもとれる言葉

387 : 名無しの転生者
これは思わせ男ムーブ

388 : 名無しの転生者
屑だな

389 : 名無しの転生者
これはまごうことなき屑

390 : 名無しの転生者
wkwk

第10話

「これが伊勢うどんか」

夜光は玲奈の案内でとある食事処に来ていた。目の前には伊勢うどんと呼ばれるうどんが置いてある。太くて柔らかい麺に、出汁と伊勢だまりを合わせた独特の色の濃いタレが特徴的だ。甘く独特な香りが鼻腔をくすぐり食欲を誘う。口にうどんを入れて、予想外の上品さに目を丸くした。

「思ったより味が濃くないじゃろ？ここの店はこれが売りなんじやよ」

「……………うまいな」

素直にそう思った。それと同時に、玲奈の服装の感想も口に出したかった。出さないが。服装のセンスがいい。シンプルながら可愛らしい純白の丈が短いワンピース。少女のすらりとした長い脚と真っ白で柔らかそうな太ももを惜しげもなく晒していて、実に眼福である。ただ、髪を結んでいるくすんだ赤いリボンが微妙に似合っていない。何というか、そのものが悪いわけではなく服装とマッチしていない。もったいない。そう夜光は思っていた。絶対に口にしないけど。

「……………よく観光案内なんて引き受けてくれたな」

夜光がそう話しかけると、うどんを口に入れたまま玲奈は顔を上げた。そして、じゅるりと吸い込んでもぐもぐ口を動かしていた。最後にゴックンと飲み込むと

「なんじゃ、意外だったかの？」

「ああ、正直断られるものと思ってたよ」

「まあ、いきなり「付き合ってくれ！」と何の脈絡もなく言われた時は頭がおかしくなったのかと思ったがの」

夜光は目をそらす。勢いと勢いと勢いだけで突貫した夜光は、自然に「付き合ってくれ」というフレーズを使う会話を考えるのを止めて、部屋に入って一言目に言い放ったのである。やけくそだった夜光は気が付いていなかったが、玲奈は近年稀に見る惚け顔をしておりあの

瞬間であれば、夜光の攻撃も通ったであろう。

「それに、いい玩具が手に入ったからのお。壊れないようにメンテナンスをこまめに行っているんじゃない？」

「だったら、武器の能力ぐらい教えてくれてもいいんじゃないか？このままだと、ボコボコにされ過ぎて俺が壊れるぞ」

玲奈は悪戯っぽい笑みを浮かべて、夜光を玩具と断言し夜光はそれを流して情報を要求する。

「人が壊れる線引きは誰よりも理解しておるからの。問題はないのじゃ」

軽くそれを受け流した玲奈は皮肉気な笑みでそんなことを言う。一瞬その諦観じみた表情に顔をしかめた夜光は完全に踏み込む機会を逃していた。

「もう一つ、儂がお主の申し出を受けた理由がある」

今までの空気を一掃するように、玲奈は大げさな手ぶりで主張した。

「儂は可愛いじゃろ？」

どんな理由が語られるのかと思いきや、突然の自己肯定に夜光は完全に毒気を抜かれた。

「そうだな。否定はしない」

「じゃろう？儂はこう見えても学校でモテておるのじゃ！昔はこの口調で文句をつけてくる愚か者もいたのじゃが、才色兼備の儂を見て最近では諦めおった。そういうわけで、儂は男子からも女子からもモテモテなわけじゃ」

のじゃロリ口調は祖父の口調が移ったらしい。

「……………」

あまりにも長く続きそうだったため、夜光は店員を呼び先に会計を済ませた。店員は店員で、玲奈の言動に動じることなくBGMとして処理している。どうやら、この自己肯定の塊みたいな発言はいつものことらしい。

「いや、儂ってば勉強も運動も頭一つ抜けているわけじゃ。その上、美少女なんじゃから手に負えんじゃろ？聞いておるか？」

ない胸を張って自信満々に語る彼女を見て、夜光はため息をついた。

「で？お前が可愛いのはわかったから、俺の誘いを受けたもう一つの理由は？」

夜光がそう問いかけると玲奈はちらりと窓の外に視線を向け、悪だくみをしている子供のような顔をする。

「結論は店の外で教えてやろう」

そう言っつて、席を立ちあがった彼女に続いて夜光も店を出る。時間は午後2時過ぎ。太陽が目染みる時間だ。

店の外に出た玲奈はクルリと夜光の方に向き直り、ズイッと顔を近づけた。玲奈の身長は、夜光よりも7cmほど低いため背伸びをする形になる。

「何じゃ…もう少し反応せよ。赤面の一つでもせんか」

「……………対面の道路に百面相している少年がいるんだけど、知り合い？」

「鋭いの。クラスメイトじゃ。ついでに、儂に気がある男子生徒じゃな」

夜光は確信する。この女は自分が出会ってきた人間の中で一番性格が悪いと。心底楽しそうに笑う少女を見て、夜光は男子生徒に同情した。

「もう一つの理由はこれじゃ！思いを寄せる女子が知らない男と歩いておるではないか！そんな姿を自分以外の数名が目撃する。夏休み明け、本人に確認を取るもはぐらかされる。悶々とする男子生徒たち。情緒が掻き乱されておかしくなる男子生徒。めっちゃめっちゃ面白そうじゃろ？」

「マジでいい性格してるよな、お前」

その内刺されるだろこの女。そんなことを思いつつ、夜光は玲奈に連れられ他の観光名所に歩を進めるのだった。

400：いつち

デートは楽しく進んでるけど、この性悪女をどうにかできる自信がありません

401：名無しの転生者

女って怖いな

402：名無しの転生者

脳が破壊される男性生徒かわいそう。あー、嫌な記憶が思い出されそうできつい

403：名無しの転生者

現実にいるんだな、こんな女の子

404：いつち

好きな子に告り損ねたことならあるけど、こういう体験はないなあ

405：名無しの転生者

アアアアアアアアアアアアアアアアアア。NTRはもうたくさんだああああああああああああああああ

406：いつち

あ、この牛肉美味しいな

407：名無しの転生者

弄ばれたトラウマニキは気を確かに持て

408：名無しの転生者

刺されそうなムーブって意味なら、イッチも負けてないと思うけど

409：名無しの転生者

むしろイッチの方がやばいでしょ、相手の重さとかが

410：名無しの転生者

>>407

これを取り越えて強くなるんやで俺のようにな……。いやー、もう3

年も前になるのか。片思い：遊ばれている…屋上…告白の瞬間
……うああああああああああああ

411：名無しの転生者

地獄絵図で草

412：いっち

へえ、黒髪ちゃん兄妹がいたのか

413：名無しの転生者

>>410乗り越えられてなくて草

414：名無しの転生者

>>409

これやばいと思うぞ

415：名無しの転生者

>>409

>>410

地獄絵図で草

416：名無しの転生者

画像の保存で忙しくてあんまり話見れてなかった。結局、どうなっ
た？

417：名無しの転生者

黒髪ちゃんを落とすのは至難そう

418：名無しの転生者

これからもアプローチを続けんといかな

419：いっち

押してダメなら？

420：名無しの転生者

引く

421：名無しの転生者

引いてもダメなら？

422：いっち

蹂躪する

423：名無しの転生者

草

424：名無しの転生者

草

425：名無しの転生者

イツチの恋愛観が怖いんだけど

426：名無しの転生者

蹂躪つてなにするんだ？w

427：いっち

先輩からの教えで、何してもダメなら強制的に自分しか見れないように蹂躪しろって言われてた。安心してほしい、猫耳にそんなことはしてない。

428：名無しの転生者

何も安心できないが

429：名無しの転生者

やはりイツチもおかしいのでは？ボブは訝しんだ

430：名無しの転生者

で、こっからどうするんだ？

431：いつち

ここまで来たら何としても武器はもらって帰る。よって、暴力による解決と黒髪ちゃん攻略を同時に行おうかなと思ってる

432：名無しの転生者
せやな

433：名無しの転生者
そうするしかないやろな

434：名無しの転生者
安価は？

435：名無しの転生者
とりま、安価しよ？

436：名無しの転生者
安価

437：いつち
……黒髪ちゃん攻略は厳しいかもなあ

438：名無しの転生者
どうした急に

439：名無しの転生者
即堕ちニコマ？

440：いつち

黒髪ちゃん、突然儂は行く場所があるから先に帰れって言つてどっか行っちゃった。今日の予定はないって朝言ってたんだけどな…。

441：名無しの転生者
何か怒らせた説

442：いつち
怒ってたつていうか、焦ってたつていうか…。わからん

443：名無しの転生者
スレ民にもわからん

444：名無しの転生者
………なんかフラグ発つた？

445：いつち
んー、安価だっけ？じゃあ、これからの攻略方針＞＞458

446：名無しの転生者
ざっくりしてるな

447：名無しの転生者
フワフワしているとも言っ

448：名無しの転生者
ガンガン行こうぜ！的な？

449：名無しの転生者
あーなるほど？

450：名無しの転生者
「バッチリがんばれ」

451：名無しの転生者

俺に任せろ

452：名無しの転生者
命を大事に？

453：名無しの転生者
呪文を使うな？

454：名無しの転生者
ガンガン行こうぜ

455：名無しの転生者
ドラクエ縛りは草

456：名無しの転生者
虚無僧か使用人から、黒髪ちゃんの情報を聞き出す

457：
毎日夜に話に行く

458：名無しの転生者
黒髪ちゃんの生い立ちを調べる。で、一番効きそうなセリフを考え
て

459：名無しの転生者
毎日夜に話しかけに行き、心を開かせる。

460：名無しの転生者
夜這いに行く

461：いつち

おっけ、とりあえず神社に帰る

700：いつち

やばい、殺される

第11話

デートから4日が経過したある日の午後0時。橋の上に呼び出された夜光は、玲奈を待っていた。

月の光もなく少し離れたところにある電灯の光だけが橋を照らしている。空にあるのは曇天だけだった。

突然、置手紙で「今夜0時に大事な話がある故、4日前に歩いた橋の上に来るのじゃ」と呼び出されたのだ。しかし、待てども待てども玲奈は現れない。

夜光は場所を間違えたかと思ったが、橋の向こうから人影が歩いてくるのが見えた。黒い髪に黒い瞳。まぎれもなく玲奈だった。

「デートで買った髪飾りはなしか。告白ではなさそうだけど、何だろうな…」

安堵と共に零した夜光の声は、背中から走った衝撃で途切れた。

「ほう、僅かに反応して致命傷を避けたか。素晴らしい動きだ」

夜行は愕然と首を後ろに回した。彼の背中に、剣を突き立てた状態で一人の男が立っていた。夜光の持つ未来視をかくぐって、わずかに生じた隙を逃さずに。声を上げかけた夜光の背中から刃が引き抜かれ、彼はその場に膝から崩れ落ちた。冷静にそれを見下ろす男の剣から鮮血が滴り落ちる。

「てめえッ…」

夜光が短刀を抜くよりも早く、熱の籠っていない声が彼を仕留めた。

「すまぬ、『急急如律令』」

その言葉と共に、夜光をめまいが襲った。夜光のポケットに入っている置手紙の裏側に一つの文字が浮かび上がっていた。

『毒』と。

夜光は今度こそ完全に地面に倒れた。

私は兄が苦手だった。別に他の使用人のように私に嫌な目は向けてこない。祖父のように憐みの視線を向けてこない。人間としてもサバイバーとしても、優秀な兄だった。一族の中で誰よりも力を扱う才能に愛され、生まれた時から後継者として期待されていた。

対して、私はダメな妹だった。サバイバーとしての才能は希薄、勉強も運動も兄に及ばなかった。お前の価値はその血だけである。使用人にはそんな風に言われていた。祖父も私を嫌うことはなかったが、認めてくれることもなかった。兄と話す度、自分の出来損ない具合と人間としての未熟さを突き付けられているようで、きつかった。辛かった。だけど、使用人も祖父も誰も私を認めてくれない状況で、兄だけは私を認めてくれた。だから、嫌いになれなかった。

『本来であれば、この業界から足を洗い一般的な世界で生きることがお前のためだと理解はしておる。じゃが、残念ながらお前は儂の孫じゃ。一族の繁栄のため、この家から逃げることは許されん。『開祖の筆』を継承できれば、話が変わっていたがあれを継承するのは忠成だ。許せとは言わん。だが、諦めてここに縛られてくれ』

7歳の時に祖父に言われた言葉だ。この一族は、平安時代にとある存在に呪われこの土地に縛られることになった。外に出れば、その者は必ず人間としての意識を保てなくなるとされていた。呪いの発動条件は、屋敷から佐伯の血を引くものが消えること。つまり、屋敷を含めたこの土地から祖父と兄と私がいなくなれば、呪いは発動する。その条件の唯一の例外が継承者である。呪いが発動しても継承者だけがその影響を弾くことができる。

佐伯家に伝わる秘宝。『開祖の筆』。筆を用いて紙に文字を書き記すと、関係する事象を操ることができるようになる。『雷』と書けば雷を起こせるし、『電撃』と書けば電気を操れる。基本的にはあらゆることができる万能の武器だ。しかし、この武器は他の武器よりもはるかに持ち主の才能に影響を受ける。基本的には行き過ぎた事象改変を武器そのものが拒絶するのだが、開祖や兄は常軌を逸した事象の改変を引き起こせた。その最たる例が『式神』の文字から生まれた虚無僧

だろう。命の創造という禁を犯せるほどの才能の持ち主。周囲は兄を褒めたたえた。

『いずれ開祖に並び世界を変えることができる』

そう期待されていた。

だけど――――継承の儀式で

『逃げるんだ！玲奈あ！』

覚えているのは兄の叫び声だけ。気が付けば、周囲は肉塊であふれていた。無傷だったのは私だけ。生きている人間なんて、ほぼいなかった。私は、立ち込める血の匂いに胃の中身を吐き出すことで応えた。落ち着いてから、周囲を見回すと兄だけが僅かに意識を保っていることに気が付いた。四肢は欠損し血まみれだったが、致命傷は避けられており止血し安静にしていれば命は助かりそうな状態だった。

急いで処置をしないと、体を起こし地上に控える使用人と兄の式神に助けを求めようと走り出した瞬間、それは転がっていた。兄の血で赤く染まっている開祖の筆だった。

今でも夢に見る。あの時筆に捕らわれて兄を見殺しにしなければ、こうはなっていなかったのではないかと。

未熟者の私が『開祖の筆』を使うなんて発想をせずに、すぐに人を呼びに行っていれば何かが変わっていたのではないかと。使いこなせもしない『開祖の筆』で試行錯誤している暇があるなら、人を呼びに行くべきだった。いや、根本的な問題はそこではない。

あの時、私は……。「兄が死ねば私が当主となり、継承者の資格を得ることが出来る」そう考えてしまった。だから……あの葛藤の間さえなければ……兄の恋人に恨まれることも、兄の式神に失望されることもなかったはずなのに。

後悔は人を変えるところだが、あれは嘘だ。あの後罪悪感でおかしくなりそうだったし、プレッシャーにも押しつぶされそうだったし、劣等感には全身を焼き焦がされそうだった。だから、虚勢を張って、罪悪感を振り切るために今までよりもはるかに努力した。勉強も、運動も、戦いも。才能の壁には邪魔されたけど、それなりに結果は出た。だけど、意味などなかった。私は変わってなどいない。一人称を変え

て、口調を変えて、血反吐を吐きながら努力をしても……結局、自分に好意を向けてくれた人をこうして裏切るのだから。

701：いつち

うえ x t c f v y g h b j n k ! ? 急展開過ぎてついていけない。
刺された! ? ワイ、刺されたんけど!

702：名無しの転生者

お、お、お、落ち着け?

703：名無しの転生者

つていうかやばくないか?

704：名無しの転生者

スレ開いてる場合じゃねえ

705：名無しの転生者

実況はもういいから逃げろ

706：名無しの転生者

いや安価だ! 安価で打破しろ

707：名無しの転生者

イツチ安価取れ!

708 : 名無しの転生者
急げ

709 : いっち

ここから何とかして体勢を立て直したい>>720

710 : 名無しの転生者
覚醒しろ

711 : 名無しの転生者
覚醒して

712 : 名無しの転生者
不意を突いて逃げろ

713 : 名無しの転生者
川に落ちて逃げろ

714 : 名無しの転生者
何とかして川に落ちて逃げろ

715 : 名無しの転生者
巧みな話術で相手の目的を聞き出して、交渉する

716 : 名無しの転生者
いいから時間を稼げ

717 : 名無しの転生者
流石にふざけられない安価だ

718：名無しの転生者
覚醒して

719：名無しの転生者
助けを呼ぶ

720：名無しの転生者
話術で時間を稼いで虚無僧の救援に期待

721：名無しの転生者
覚醒して時間を稼ぐ

722：名無しの転生者
転生特典使え

723：名無しの転生者
逃げる一択だろ

724：名無しの転生者
何故川に落ちないのか？

725：名無しの転生者
逃げろよ

726：名無しの転生者
救援を期待？イッチを殺したいのか

727：いっち

いや、たぶん虚無僧は来てる。なんだかんだ、黒髪ちゃんを気にしてたから。>>720はあり

728：名無しの転生者

っていうか、スレ開いてなくてもいいぞ

729：名無しの転生者

集中して

730：名無しの転生者

何処で黒髪ちゃんの裏切りフラグが経っていたのか？

731：名無しの転生者

デートの日じゃないか？

732：名無しの転生者

あり得る

733：名無しの転生者

最後不穏だったもんな

734：名無しの転生者

黒髪ちゃんの闇深いからね

735：名無しの転生者

昔の話が重かった

736：名無しの転生者

あの使用人、黒髪兄の元恋人とかきついな

737：名無しの転生者

イツチを刺したのって何者？

738 : 名無しの転生者
わからん

739 : 名無しの転生者
黒髪ちゃんの式神？

740 : 名無しの転生者
黒髪ちゃんは式神作れないって虚無僧が言ってたぞ

741 : 名無しの転生者
第三勢力っぽいな

742 : 名無しの転生者
ここに来て第三勢力か

743 : 名無しの転生者
イツチの予測眼をスルーしたのやばくないか？

744 : 名無しの転生者
そろそろ動画配信してほしいな

745 : 名無しの転生者
あれは見ている俺らが吐くぞ？

746 : 名無しの転生者
戦闘シーンとか吐かないわけないんだよな

747 : 名無しの転生者
イツチ早く戻ってこい

748 : 名無しの転生者

この掲示板覗くのが最近の日課だから、やすやすと死なれるのはま
ずいぜ

749：名無しの転生者

書き込んでいるうちは問題ない

750：名無しの転生者

男は第三勢力、黒髪ちゃんはその協力者？二重スパイ的な？

751：名無しの転生者

わからん

752：いつち

黒髪ちゃんはおそらく脅されてるっぽい。敵は、ワイを刺した男。
もう一人協力者がいるらしくて、そいつが黒髪ちゃんの武器である
『開祖の筆』を盗んでたらしい。それを返してもらうために、ワイを敵
に差し出しているっぽい。デートの日に盗まれたから、帰り際に焦っ
てたんだなあ。あ、虚無僧が助けに入ってきてくれました。

753：名無しの転生者

イツチ！

754：名無しの転生者

生きてたか！

755：名無しの転生者

どうなってる？

756：いつち

男が強すぎて虚無僧が瞬殺されました。ただし、男が黒髪ちゃんに
武器を返す気はないらしいことがわかって黒髪ちゃんが毒を解毒し

てくれました。なので、状況は悪くはなっていない。男の目的は黒髪ちゃんの殺害と開祖の筆の奪取、ワイの捕獲らしい。男は第三勢力でよくわからないあの方とか言うのに付き従ってる国際テロリストだな。この世界で国家間移動ができるのマジでやばい。かなりやばい組織だと思うぞ。ちなみに、ワイは黒髪ちゃん連れて逃げ隠れながら、様子見してる。

757：名無しの転生者

情報量w

758：名無しの転生者

虚無僧オ！

759：名無しの転生者

虚無僧さん

760：名無しの転生者

虚無僧

761：名無しの転生者

はー、虚無僧マジかよ。イツチのファン止めようかな

762：名無しの転生者

ちよつと、珍しくシリアスだからやめろ。

763：名無しの転生者

イツチ的に勝てそうなん？

764：いつち

丸腰では無理！武器があっても拮抗しそう。

765：名無しの転生者
狙撃なら？

766：いつち
一番勝ち筋があるのは狙撃だけど、あのタイプは狙撃躲してワイを
殺しにくるタイプ

767：名無しの転生者
何それ怖い

768：いつち
黒髪ちゃんは黒髪ちゃんですメンタル崩壊しているし

769：名無しの転生者
？

770：名無しの転生者
？

771：名無しの転生者
愉悦？

772：いつち
『開祖の筆』を持っていることがアイデンティティだったんだと思う。
あの男にメンタル攻撃されまくって泣きながら蹲ってる。頭抱えて、
「ごめんなさい」を連呼してますね。「私のせいで」と「あれがないと」
と「私なんて」と「ごめんなさい」しか言っていない。

773：名無しの転生者
そそる、かわいそうは抜ける

774：名無しの転生者
抜ける

775：いつち

ちよつと、安価取るかな。どうにかして武器を手に入れたい、後黒髪ちゃんを落ち着かせたい>>781

776：名無しの転生者

>>772 画像上げろ

777：名無しの転生者

>>774 通報した

778：名無しの転生者

武器は拾う。黒髪ちゃんは精神分析

779：名無しの転生者

拾う。黒髪はビンタ

780：名無しの転生者

虚無僧の奴を拝借して武器はおつけー。黒髪ちゃんは……イッ
チが黒髪ちゃんより取り乱せば冷静になるんじゃないか？

781：名無しの転生者

黒髪ちゃんを慰めて当初の武器を手に入れる。黒髪ちゃんにキス
して落ち着かせる。

782：名無しの転生者

筋肉で解決

第12話

「さて、これで任務の8割は完了だ」

倒れ伏す夜光を尻目に、軍服を纏った男が剣を鞘に納めた。

「任務だど？」

「そうだ。吾はあの方から3つの指令を受けた。一つは、貴様の捕縛。もう一つは、『開祖の筆』の奪取だ」

「なッ!? 話が違うぞ!? お主を手伝えば、『開祖の筆』を返す約束だったはずじゃッ」

声を荒げる玲奈に男は静かに首を振って応じる。その様子を見て、夜光は玲奈と男の間にある協力関係は、一方的なものだと判断した。「フッ、それは嘘だ。受けた指令には、貴様の殺害も含まれているからなッ！」

男が再び剣を抜く。それに反応して、玲奈は呪符を懐から放り投げ文字のままに事象を捻じ曲げる。

『雷鳥』『煙』『解毒』『結界』急急如律令！

橋の上を煙幕が包み、空中に現れた電気で出来た怪鳥が男に牙を剥く。さらに、玲奈は自身と夜光を不可視の障壁で包み、夜光に解毒を施す。

展開された無数の雷鳥。その威力は、苛烈の一言に尽きる。縦横無尽に立体軌道を行い、突っ込んでくる雷鳥を男は鼻で笑いながら斬り伏せた。否、これは正確ではない。男の振るう刃に触れた瞬間、雷鳥は影も形も残さずこの場から姿を消した。

「素晴らしい。ワンアクションでこれほどの事象改変を起こせるのか。実に素晴らしい武器だ。実に脅威だ………それ故に残念だ、出来損ないがそれを使っている事実がな」

「なッ」

呆然とする玲奈に男の刃が迫る。狙われたのは首。一瞬で距離を詰められた彼女に、回避行動をとる余裕はなかった。

「ッ！」

攻撃が届く寸前で、毒から解放された夜光が割って入った。短刀が

男の一撃を受け止める。しかし、その顔に余裕はなかった。

「チツ、その傷でよく動く」

男は夜光の短刀を切り払い、さらに斬撃を繰り返し夜光を吹き飛ばした。

体勢が悪かった。傷を負っているという現状も要因の一つだ。だが、夜光はそれは本質ではないと断言したかった。純粹に、目の前の男の技量が凄まじく卓越しているのだ。

重たい一撃を喰らった夜光は呻き声をあげる。咄嗟に受け身の姿勢を取った彼は、そのまま後方に吹き飛ばされた。それだけでは止まらずに、その場でバウンドする。

夜光は、そのままぐるりと一回転することで勢いを殺し、地面へと足を着けた。もつとも、それだけで威力を殺すことはできず地面を削りながらの着地となった。口内に溜まった血の塊を吐き捨てる。

「実に惜しい。その身のこなしであれば、吾から逃げることなど造作もないだろう。この出来損ないの足手まといさえいなければな」

男は玲奈を見下ろし吐き捨てた。それに眉をひそめて夜光は返す。

「お褒めに預かり光栄だが、佐伯が足手まといつてのは流せない発言だな。そいつに負け続けてる俺の立つ瀬がないだろ」

「…どうやら、何も知らぬらしいな。この女のことを」
「……………ッ」

玲奈が顔を上げる。先ほどから彼女にいつもの自信は存在していなかった。顔色は真っ青で明らかに怯えていた。

「どういう意味だ？」

「この女はな、出来損ないであると同時に罪人なのだ」

「よせ……………」

「この女は「やめるのじゃー！」」

一瞬静寂がこの場を包む。そして、弱弱しく泣きそうな声で玲奈はこぼす。

「もうしゃべらないで…」

夜光は目を見開いた。ここまで弱った玲奈を初めて見たからというのもあるが、完全に口調が普通に戻っていたからだ。

「この女はな、己の欲望に取り憑かれ兄を殺したのだ」

ひゅっという小さな音を玲奈は立てた。それが自分の口から出た悲鳴だと気づくことはない。

震えが止まらなかつた。ここから立ち上がりたくないと本能が叫んでいるようだ。

「この地では3年前に――」

男は無慈悲に冷酷に玲奈の過去を暴いていく。じつくりとじつくりと、玲奈の精神を撈る様に男は、過去を語っていく。それは夜光が虚無僧から聞いていた話とほぼ同じだった。しかし、虚無僧の話では玲奈はただ事故に巻き込まれて生き残っただけなはずだ。だが、玲奈の反応を見るに男の語っている過去こそ事実なのだと思えざるをえなかつた。

男が玲奈の過去を語り終える頃には、玲奈は正常な精神状態とは言えなくなっていた。

自分の震える身体をぎゅっと抱え込み、泣きじやくっている。誰がどう見ても限界だった。

「先に、貴様を片すか。兄と同じ傷で殺してやる」

男の刃が動く。狙われたのは玲奈の腹部。そのまま内蔵を抉りださんと凶刃が振るわれる。夜光は無理やり玲奈と男の間に割って入り、玲奈を抱え、跳躍し空中にて体をひねって回避する。ナイフは玲奈の股の下、少し長めのスカートを切り裂いた。

「荒田さんッー」

夜光の叫びと共に虚無僧が男の背後から現れた。完全な不意打ち、虚無僧の丸太のような腕は鞭のようにして男を薙ぎ倒した。

「ハヤクニゲロッージカンはカセグ」

夜光は玲奈を抱えて駆け出した。平気そうな顔で立ち上がる男を視界の端にとらえながら。

鳥居をくぐり神社まで戻ってきた夜光は地面に背をつけたまま空

を見上げて、ひとまず逃げ切ったことを確認した。夜光も玲奈もお互い肩で息をしている。

だが呼吸が乱れた原因は別だった。夜光の理由は肉体的な疲労であるが玲奈は精神的なものが要因だった。

玲奈は自分を見失っている。こちらが何を言っても耳に届くことはないだろう。それを理解していたうえで、夜光は敢えて気を使わなかった。

「なあ、お前の兄は何で死んだんだ？」

「……………」

「答えろ、佐伯玲奈」

呆然自失の玲奈の肩を掴んで石畳に押し倒す。そして、床に手をつけて床ドンを行った。完全に心が折れかけている表情の玲奈と目が合い、息が詰まる。

「ヒッ！」

「答えろ」

目をそらすことを夜光は許さない。顎を掴んで向き合わせる。

「わ、私が…兄さんを見殺しにしたから」

「何故見殺しにした？」

「兄が死ねば開祖の筆を受け継げる人間が私だけになると思ってしまったから…」

「兄を殺したいほど憎かったのか？」

「そ、そんなことはないッ。私だって…見殺しにするつもりはなかった。私だって、助けようとした！」

「だが実際にお前の兄は死んだ」

「…私が、私にも開祖の筆を使えると思いがあって、行使に失敗したから。時間が無駄になり兄は死んだ」

「そうか、だが不思議だな？お前の兄が死んだ直接の原因は、継承式の事故だろ？なぜそうも責任を負おうとする？何故、当主になったんだ？こんな重責に捕らわれるのはきついだろ？開祖の筆を持って逃げ出すことなど、造作もなかったはずだ。違うか？」

「そ、それは」

「痛感するだろ？自分と兄との才能の差を。祖父が背負ってきた重責と歴史の重さを。自分の罪の重さを」

虚無僧の話だと玲奈は当主になることを放棄することができたのだ。だがしなかった。

「兄のしてきたことが無駄になるから」

なるほど、それは嘘ではないのだろう。だが、それだけではないはずだ。

「私が殺したようなものだから、私が責任を放棄するなんてできない」その声には色がない。ただただ、刷り込んだような古いテープを再生しているような台本通りの声色。

ギリつと夜光は齒軋りをし怒りの感情を吐き出した。

「そんな言葉が聞きたいんじゃない！お前だ！お前の言葉が聞きたいんだ！兄への罪悪感や嘘ではないんだろう。お前の真面目さが責任を放棄させなかったこともわかる。だが、それは本質ではないだろ！？」

その言葉はスレ民に言われたから出てきた言葉ではない。あの地獄のような学園で何人もの仲間が死んでいく中無理やり折り合いをつけていく仲間たちが、彼女に重なって仕方なかったのだ。

「罪の意識から逃げたかったの……誰かに許してほしかったの……償いたかったの……胸を張っていきたくった……何より」少しづつ声に色が、熱が乗っていく。

「ん、全部吐き出せ」

ひどく残酷で優しい気で甘く苦い夜光の声に、背中を押されて玲奈は傷を零した。

「私は、誰かに認めてほしかったんだッ！祖父は誰よりも強かった。兄は誰よりも優秀だった。だから、私も儼そうあらねばならない。だけど、それ以上に誰かに責められるのが怖かった。誰かに求めてほしかった。自分でもみつともないってわかっている。虚勢を張って強がって、使いこなせない力を振るって傲岸不遜に振舞う。この生き方は、一番祖父や兄から遠い生き方だとわかっている。死のうとしたことだってあるよ。だけど、だけどき……」

処理限界を超えた感情が雫になって地面を黒く染めていく。夜光は何となく、玲奈が他人に対して攻撃的な理由はこれだったのだと理解した。祖父の真似をするのも、屋敷に来た人間を攻撃するのも、一種の威嚇なのだ。だって、夜光が初めて玲奈に負けた時、彼女は言ったのだ。「儂と主の実力差が理解できたじゃろ」と。

「誰かに認めてほしかった。小さなころから、否定しかされなかった私そのまま終わりたくなかった!」

決壊したダムのように泣きだす玲奈を見てようやく、安堵の表情を夜光は見せる。ずっと、その言葉が聞きたかったのだ。

「お前は強いよ、佐伯玲奈。虚無僧とあの男の話から武器の性能は大理解した。あんなチート装備を使っても俺に手を焼いているのが、お前の才能を示してしまっている。確かに、お前にサバイバーとしての才能はない。だが、それでもお前は強い。俺はあの学園で何度も見てきた。死という恐怖が迫ってくる中、それでも諦めに支配された奴らを。諦観は人間にとって最も厄介なものだ。だから、それを乗り越えてここまで歩いてきたお前は強いんだよ」

「……………わ、私は」

「誇れよ、お前は強い。誰よりも強い!俺は知っているぞ!部屋に入った時お前の傍らに積まれていた書籍の量を。運動も勉強も学校では負けなし?私は才色兼備の美少女だから?違うな、お前が学校で負けなしなのは努力しているからだ!あの日に使いこなせなかった開祖の筆を今は使えてんだろ!?お前が諦めずにここまで歩いてきたからだッ」

夜光は本心の中に耳障りの言い言葉を並べて玲奈の心を無理やり直していく。だが、玲奈は激しく首を横に振る。

「だけど、どれだけやっても私じゃ兄さんにとど「関係ない!」」

「関係ないんだ!そんなこと!お前の兄がお前より優れていたという事実は3年前のものだ。今、現段階でお前が兄にあらゆるもので劣っているかどうか確認する手段がないんだ。もし、仮にお前が劣っているという結果だったとしても、お前にはこっから追いつく時間がある。いいか?お前に重要なことを教えてやる」

夜光は玲奈の上半身を起こしキスをする。突然唇を奪われた玲奈は熱に浮かされたような表情をしていた。キスが終わるころには、完全にストッパーが外れていた。

「佐伯玲奈じゃない、俺が認めているのはただの玲奈だ。ここまで頑張ってきたお前を認めている人間がいる。少なくとも、俺は！俺だけはお前を認めてやる。それじゃあ、不満か？」

曇っていた空から僅かに月が顔をのぞかせる。暗闇しかなかった世界に再び月光が差し込んだ。

「私は……お主を騙して殺そうとしたんだよ？」

その言葉に夜光は軽く笑って、玲奈の肩に手を置いた。

「気にすんな。俺は生きてる。いい女の嘘を受け流してやるのが、いい男の条件だろ？」

夜光は不敵な笑みを浮かべて見せる。かつて、自分の先輩が自分に笑いかけてくれたように。

「よお、遅かったな」

「ああ、目撃者の処理に時間がかかった。お陰でもうそろそろ夜が明けそうだ」

夜光は刀身が赤緑に輝く一振りの刀を持って、鳥居の正面に仁王立ちしていた。周囲に、玲奈の影はない。男は、軍服を血で濡らしながら剣を引き抜く。

「武器を手に入れたか、だがそれでどうなる？ 貴様と吾の間にある力量の差は、そんなものでは埋まらんぞ。加えて、貴様はかなりの手負いだらう」

夜光の瞳と男の眼光が交わる。両者の間にあるには純粋な殺気だ。問答など必要ない。それを証明するかのようには、二人の武器が交わった。

剣による鋭い残線がいくとなく振るわれるもそのすべてを夜光

は刀で捌く。先ほど受けたダメージと疲労で体が鉛のように重く感じていた夜光であったが、生存本能と意地が彼を極限まで集中させる。

「あの女は逃げたのか。男に守ってもらい、身を隠すとは随分といい身分だな」

「さあな？だが、お前よりはまともな人間に見えるぜ？」

30秒ほど打ち合った後、いったん距離を取り再度距離を詰めた。「随分と調子がよさそうだな。その傷で」

「ハハッ、安価の力ってやつだ」

そう答える夜光の顔に余裕はなかった。疲労がたまっているのだ。剣が振り下ろされる。そう読みづらいわけではないただの大振りだ。速度も破壊力も尋常ではないが、かろうじて避けることだけなら難しくはない、そのはずの一撃だ。しかし、それはあくまでも夜光がそれまで通りの動きを続けていたらの延長。傷の痛みとまだ手に馴染まない武器、崩れた体勢と散逸したばかりの集中力では、かわしきることは不可能。

それは両者ともに理解していた。生け捕りを指令として与えられた男は、なんとか剣を引こうとするものの間に合うことはない。

夜光は直撃すれば死ぬと予感した。それと同時に、尋常ではない全感覚が体を襲った。全身が軽くなるような、どんな動きでもできるような。誰かに正しい動きを教えられて、動かされているような錯覚を受ける。そして、自然と笑みがこぼれた。獰猛で凶暴な笑みが。

「ハハッ」

ありえない体勢から、足の裏が大地を噛んだ。身を振り感性と遠心力を無理やり生み出した。無雑作に振るわれた刀が男の剣の刀身に横から触れた。体を動かしていたあらゆる力の方向を歪め束ね刀身から解き放つ。瞬間、凄まじい衝撃が両者を吹き飛ばした。

「なッ!？」

男は完全に虚を突かれ、地面に転がった。それはサバイバーの戦いでは十分状況をひっくり返すトリガーになり得る。

夜光は刀身を翻す。繰り出されるのは剣戟の嵐。男とて、一方的に

やられ続けていたわけではない。片腕ながらも、懸命に剣戟を凌ごうと試みる。その選択は、少なくとも悪手ではなかった。むしろ、正解に近い最適解であった。現状は夜光の方が優勢だ。しかし、夜光には傷と疲労というハンデがある。斬撃を五回、剣で弾き三回を身をよじりかわして見せたところで限界が来る。

「おおおおおおお！」

男の気迫と共に、空高く引き上げられた赤緑の刀がくるくると回りながら夜空に小さな弧を描く。カラッと軽い音を立て刀が転がる。打ち合いを制したのは、男だった。先に限界が来たのは夜光だった。だが、それは想定範囲内である。

「行くぞー！」

夜光が体を滑らせる。男は瞠目した。丸腰で挑んできた夜光にではなく、夜光のその瞬発力にだ。ありえない。負傷した人間の動きではない。

相手の剣が稲妻の軌跡を描いて、その空間を制圧する。その全てをすり抜けて完全に距離を詰める。

右肘が相手のアゴを、左の拳が脇腹を狙う。それを回避した男の剣刃が夜光の肉を切り裂きながら腹の奥へ沈んでいく。

それを知っていた夜光は掌底を放った。夜光の掌底が相手の胸部に押し当てられる。

「夢い一撃だったな」

軽い衝撃を受けつつも、男は夜光の体力の限界を悟った。

「知ってるか？人間が魔物に勝っている点の高い知能だが、同時にそれは油断を呼ぶんだ。お前、何で俺以外に意識を向けてないんだ？」

血を吐いた夜光は、不敵に笑った。

「ッ!？」

男は自身の胸部に視線を向けて、驚愕を露にした。男の胸部には呪符が張られていたのだ。

(さっきの掌底はこれを吾に付けるためか!?)

第13話

後日談

1：いち

ただいま

2：名無しの転生者

よう、女たらしクソ野郎

3：名無しの転生者

追い詰めて搦り上げる最低のクソ野郎

4：名無しの転生者

弱みに付け込んで距離を詰めるクソ野郎

5：名無しの転生者

いつか刺されるぞ

6：いち

はい。いつも通り、現状報告する。

7：名無しの転生者

スルーで草

8：名無しの転生者

草

9：いち

まず、損害についてだけど、使用人以外は全員生きてるよ。使用人は行方をくらませました。怖いですね。

黒髪ちゃんの武器も取り返しました。

一般人（目撃者）が惨殺されました。

監視カメラ君もデータも壊されました。

襲ってきた軍服野郎は、後から現れた変態ピエロに回収されました。

一連の被害はサイバー絡みっていうのが確定しているんだけど、足取りを追えていない執行局が責任逃れのためにカバーストーリーを流してる。火消しが大変そう（小並感）

10：名無しの転生者

もうわけわかんねな

11：名無しの転生者
わかる

12：名無しの転生者

結局、第三勢力の目的は何だったん？

13： いっち

知らん。ワイを捕獲することと黒髪ちゃんの殺害、開祖の筆を手に入れることが目標だったらしい。

ピエロは黒髪ちゃんから武器を盗んだ実行犯らしい。

14：名無しの転生者

使用人絶対寝返ってるだろ

15：名無しの転生者

騒動の全貌がまるでつかめていない

16：名無しの転生者

仕方ない

17：名無しの転生者

俺たちはそんな現状報告が聞きたいんじゃない

18：名無しの転生者

黒髪ちゃんとはどうなった？

19：いっち

何か表面上は割と普通。今までとあんまり変わらない。発言は自己肯定の塊みたいだし、相変わらずサディステイクだな。ただ

……

20：名無しの転生者

ただ？

21：名無しの転生者

おっと

22：名無しの転生者

これは

23：いっち

被虐体質に目覚めたっていうか、SなのにMっていうか。露骨に距

離が近くなつたし、だる絡みが多いし、めんどくさがつて払いのけると「殴つてきても文句は言わんぞ」つて言つてくる。怖い

24：名無しの転生者
草

25：名無しの転生者

SとMのハイブリットかw

26：名無しの転生者

謎のDV耐性w

27：名無しの転生者

性癖開拓されてるやんけ

28：いつち

マジで距離感バグつてる。怖い。【画像】（イッチにぴったりとくつ
ついてうたた寝してる黒髪ちゃんの写真）

29：名無しの転生者

は？殺していいか？イッチ、殺すぞ？

30：名無しの転生者

お前、この美少女に気に入られて何が怖いんだよ

31：名無しの転生者

刺されそうだけどな

32：名無しの転生者

刺されそう

33：名無しの転生者

首輪とかつけてきそう

34：いつち

安価が悪いと思います

35：名無しの転生者

せやな

36：名無しの転生者

それはそう

37：名無しの転生者

あれ？髪に付けてるリボン、髪飾りになつてる。ベースが花なの

か。何の花？

38：名無しの転生者

イツチがデート中に買ったやつか

39：イツチ

ガザニアとか珍しい花だなと思って

40：名無しの転生者

っていうか、当初の目的は？

41：名無しの転生者

今までのリボンを外して、イツチの挙げた髪飾りをつけたのか
………リボンが誰かの送り物だったりする？

42：名無しの転生者

確かに

43：名無しの転生者

>>40

武器はもらえたんじゃないの？

44：名無しの転生者

それより、イツチが戦闘中に覚醒した話が気になる

45：名無しの転生者

>>40

イツチに対して、好感度高いから大丈夫だろ

46：名無しの転生者

>>43

黒髪ちゃんを組み伏せられてないけどな

47：イツチ

武器は持つて行っていいって言われてる。ただし、しばらくは使う
なって。確かに、ワイも使いたいとは思わない。ワイのいる世界の武
器は、武器の元になった魔物の能力を引き継いだ性能を発揮するんだ
けど、この武器は元が何で出来ているのかわかってないらしい。

武器には適正っていうのがあって、まだブラックボックスなんだ

けど使用者の性格と技量に応じて使える武器と使えない武器っていろいろがある。普通の武器は、適合者以外が使おうとすると能力が発動しないだけなんだけど、一部の武器は適合していない人間を弾き飛ばしたり焼き尽くしたりする。これは、強い魔物が元の素材になっているほど魔物の我が残っているからって言われてるんだけど、これに照らし合わせて考えるともらった武器はかなりやばいと思う。体の制御を持ってかれそうになったのは初めてだ。

48：名無しの転生者

モンハンの武器に使用制限がかかった的な理解でいい？

49：名無しの転生者

武器も攻略すれば解決するだろ

50：いつち

>>48

そんな感じの理解でOK

51：名無しの転生者

>>43

もう今のイツチには簡単やろ

52：いつち

言い訳させてほしいんだけど、黒髪ちゃんを追い詰めて無理やり立ち直らせたのは仕方ないことだったんだ。あそこで立ち直ってなかったら、ワンチャン全員死んでたし。

53：名無しの転生者

ほーん、で？

54：名無しの転生者

それで許されると？

55：名無しの転生者

まあ、安価の結果だけだな

56：いつち

安価が悪いと思います……………

57：名無しの転生者
安価のせいにするな

58：名無しの転生者
それはそう

59：名無しの転生者

>>>56

でも、かなり手馴れてたな？

60：名無しの転生者

屑野郎

61：いつち

>>>59

戦場だとメンタルがやられて動けなくなる子が結構多いんだ。で、放っておくと死んじゃうからケアして強引に立ち直らせる必要があるんですよ。一瞬でも油断すると戦場のど真ん中では死にかねないので。新入生たちは仲間の身体がパーンして、恐怖で動けなくなったりそこそこ長く戦っている奴でも親しい奴の身体がバーンして、我を忘れたりするから。とりあえず木偶の坊にならない様に叱咤激励して、終わったらカウンセリングに送ってた。まあ、カウンセリングに送ったところで数か月後には絶対に戦場に逆戻りなんですけどね。何度もそんなことしているうちに慣れた。

62：名無しの転生者

あつ

63：名無しの転生者

パーン

64：名無しの転生者

パーン

65：名無しの転生者

一体何の擬音なんだ

66：名無しの転生者

身体がパーンするって何？

67：名無しの転生者

そう言えばイツチの世界やバー場所だったわ

68：名無しの転生者

>>67 完全に忘れてたぜ

69：名無しの転生者

>>67

最近平和だったから忘れてたな

70：名無しの転生者

平和……………

71：名無しの転生者

>>70 平和の概念壊れてきたな

72：いつち

あ、そうだ！今回の件について、イケメンボスが何か知ってそうだから聞いただそうと思うんだけど、聞いてほしいこととかある？>>

80

73：名無しの転生者

唐突な安価、俺でなければ見逃しちゃうね

74：名無しの転生者

鮮やかな話題逸らし俺でなきや見逃しちゃうぜ

75：いつち

>>74

あーあー、聞こえないー

76：名無しの転生者

この世界の真実とか？

77：名無しの転生者

黒髪ちゃんの一族について？

78：名無しの転生者

ボスの目的を吐かせろ

79：名無しの転生者

黒髪ちゃんに関して

80：名無しの転生者

今までの女性遍歴

81：名無しの転生者

ボスの過去、イツチを黒髪ちゃんに引き合わせた目的

82：名無しの転生者

知ってることはすべて話してもらえ

「お嬢、こんな時間から外出っスか？」

学園の正門。数々の手続きを踏まないと辿り着くことのできないその場所に二人の男女が立っていた。少年は、プロテクター付きの制服を着こんだ気だるげな生徒だ。ホルスターに収まったりボルバーが印象的な少年である。お嬢と呼ばれた少女は、豪華な金色のロングヘアーの上半分の髪を両側面から後頭部に持って来てまとめ、後ろで1つに結んでいる。少年と同じく生徒ではあるが、決定的に異なっている点の一つある。それは、少年のようにガチガチに武装していない点である。加えて、旅行鞆のようなものを手に持っている。

「ええ、そうよ。そういう貴方は任務かしら？」

「そうっスね。計正の奴と合同で栃木にある街を調査しに行くことになりました」

「栃木？あんな秘境に？街ってほぼ山と森林しかないじゃない？後は、廃都市？」

「オピスライトがガリオンが居座っているおかげでとれるかもしれないってことで、探掘チームが向かったんですがね？連絡が途絶えちゃったらしいんスよね」

ガリオンとは巨大な羊のような魔物であり、この魔物から発せられ

る排出物が周辺の鉱物に付着すると、オピスライトと呼ばれる貴重な鉱石が誕生する。この鉱石は、加工しやすく強度もそれなりで尚且つ砕いて他の材料に混ぜるだけでその材料の強度を上げる性質を持っている。ただし、ガリオンという魔物は大穴が空いた初期に大量に討伐されたため、希少なものとなっている。

「ああ、なるほどね。貴方達はそれの調査に行くのね。口が堅いので有名な貴方に白羽の矢が立つのは頷けるわあ」

「お察しの通りっスね」

少年は肩を竦めてため息を吐く。少女はそれを見てクスクスと笑みを浮かべた。

「計正と任務に行くのは嫌かしら」

「そうっスね。別に嫌いなわけじゃないんつスよ。任務中話さないで済むのも、オレとしてはありがたいんですがね？今のあいつは………何というか………あー」

歯切れが悪い少年を見かねて少女が代弁する。それはもう楽しそうに。

「夜光が死んでから機嫌が悪いものね、彼らは」

「嬉しそうっスね」

ドン引きしながら少年は少女に問いかける。

「そうね。うれしいわ、あの女が悲しそうにしてる顔を思い出すだけで——濡れるわ!」

「お嬢、性癖は人それぞれっスけどそろそろ待ち合わせしてる他メンバーがくるんで自重してください。計正の奴が聞いたら戦闘が始まるんで」

「あら？これは失礼」

少女は全く反省していなさそうな顔で正門を跨ぐとする。それに反応して少年は、問い掛けた。

「お嬢はいつもの散歩ですか？」

「ええ、1週間ほど休みをもらったから東京にでも行くこうかしら」

「ああ、それでその荷物なんっスね」

「貴方もどうかしら？」

コテンと首をかしげる少女を見た少年は大きいため息を吐いて答える。

「無茶言わないでください。俺、お嬢と違って外出許可証持ってないんで」

「貴方も作ればいいじゃない」

「軽く言わないで下さいよ。3位以上かつ素行優良な生徒以外はそう簡単に申請できないっすから」

「あら？私は結構問題を起こしてるけど、剥奪されたことないわよ？」

「そりゃあ、お嬢にへそ曲げられたら任務に支障が出ますからね？腐っても1位。評価されてるんっすよ」

少女はニツコリと笑って正門から外に出た。小さくなっていくその背中を見ながら少年は零す。

「あの人、愛情表現が歪み過ぎなんだよなあ……………」

第14話

夜光とはある焼き肉屋の個室に自身のボスである男、斜佳道と二人で座っていた。彼の話だとこの焼き肉屋は自身の支援者の経営する店でありセキュリティ面も盗聴対策も完璧なのだそうだ。

「やあ、お帰り。武器は無事に回収できたみたいだね」

ハグして来いと言わんばかりの腕の広げ具合に完全に肩透かしを食らった夜光は、素直に返事をして席に着いた。

「で、寝る前に軽く報告はしたけど他に聞きたいことあるか?」

夜光は昨日の夜には東京エリアに戻ってきており、軽い現状報告をして丸一日眠りこけていたのだ。

「僕からはないよ。ただ、君は別なんじゃないのかい」

「……………そうだな。俺の質問に答えてくれるって解釈でいいのか」

「答えられる範囲で応えらるとも」

斜佳道は笑顔で肉を焼きながら答える。静寂の中に油が跳ねる音だけが響く。

「俺と玲奈を襲ってきた男を回収したあのピエロ。自分たちのことを『Purge』って呼んでた。あんたのことも知ってた。Purgeってのは何だ?何の組織なんだ?」

夜光の問いかけに驚くことなく、斜佳道は肉を焼き続ける。

「新人類主義、これは知っているかい?」

「ああ、俺たちサイババーを優れた新人類であると定義し、それ以外の人類を滅ぼす思想だろ?」

「その通り。『Purge』はその主義を根底にして各国で活動している危険指定団体のことさ」

学園生の中にも新人類主義の思想を持っている人間は五萬といた。外の人間を憎んでいる生徒は多い。それは理解できる。夜光は転生者が故に、視野が広がった。しかし、学園に集められた生徒は大半がまだ子供だ。仲間が理不尽に死んでいく日常と襲い来る死の恐怖、そして学園に縛られているという現状。新人類主義のような思想が芽生えるのは当たり前だった。いや、そもそも今の主要都市を確立する

ために尽力した古のサバイバーを裏切り殺した時点で結末は決まっていた。

『Purge』は8年前に発足した組織だ。運命の悪戯かリーダーの男を慕うものの中に、空間移動の能力を持った武器エンチャンター器を使えるものが出てね？あの男はそれを使い、各国を飛び回って戦力を整えているわけさ」

「戦力？」

「そう、戦力。『Purge』の目的はサバイバー以外の人類の滅亡。だが、当然それを今の人類や社会は許容しない。必ず執行局のような各国の機関が敵対する。障害となる敵は自分たちと同じサバイバー。倒せるのはサバイバーのみ。わかるだろう？君が何故彼らに狙われたのか、玲奈ちゃんがどうして狙われていたのか」

「わからないな」

「……………」

夜光は情報を整理する。

「玲奈はともかく、どうして学園から最近逃亡した俺の情報が『Purge』に知られている」

「遊園地で執行局と争っただろう？『Purge』はそろそろ大きく動き出す頃合いだ。戦力の増強のため、各地で目を光らせているのさ」

まるで生徒に模範解答を開設するような口調で話すボスに夜光は違和感と警戒心を抱いた。

「まるで『Purge』のリーダーのような口ぶりだな」

「アハハハハ！そうだね、ある意味間違っていないよ。『Purge』のボスであるライツ・ウォルターは僕と同期だからね。3年間、学園を共に脱走してから一緒に戦ってきたし、学生の頃から彼の野望は飽きるほど聞いていたんだ。大体の計画は知っている」

「同期……………」

ボスは生存しているサバイバーの中ではかなりの古株だ。サバイバーの力は長い時間を戦えば戦うほど強くなると言われている。もちろん戦いの濃度と才能にも左右されていくが、戦場から離れているボスでも夜光よりはるかに強いのだ。各国で戦っている『Purge』

e』のボスはいったいどれほど強いのだろうか。夜光は恐怖を抱いた。

「ちなみに、当代最強のサバイバーと名高い防衛局のトップ。彼とも僕たちは同期でね？いやー、昔は方針の違いからよく喧嘩したものだよ……………」

寂しげな笑みを浮かべるボスは過去を懐かしんでいるようだった。

「……………情報量が多くて頭が痛い、二つ聞いておきたい。『p u r g e』の目的は人類の滅亡で、あんたはそれには賛同しなかったから袂を分かったんだよな？今一度あんたの立ち位置を知りたいんだけど。あと、そもそも……………あんたは『p u r g e』の計画がうまくいくと思っているのか？」

「ライツの目的はそうだね。人類の滅亡ひいてはサバイバーにとつての楽園を作ること。手段と目的が逆転している気もしないでもないけど、彼は立ち止まれないだろうね」

斜佳道はトングから手を放し、夜光に視線を投げた。

「僕が知っているのは5年前の段階でのライツの計画だけど、勝率は4割といったところだろうね」

ボスは少し悩んだ後、訳知り顔でそうつぶやいた。

「結構あるんだな」

「武器エンチャンター器にAからCのランクがあることは知っているね？」

「ああ、その武器エンチャンターの性能の高さと危険度、製造の難易度を加味してAからCに武器はランク付けされているな」

「正確にはAの上にSランクとZランクがあるのは知っているかい？」

「Sは聞いたことがあるが、Zってのは知らないな」

「Sは性能が高く希少でありかつ扱いが難しいAランクの中でも極めて希少なものを指定するためのランクだね。公式ではないが『天邪鬼払』もそれに該当する。そして、Zランクとは使いこなせば単身で国を落とせると言われる武器エンチャンターのとき。都市伝説のようなものだけだね？」

「見たことがあるのか？」

「君だつて見たことあるだろう?」

夜光は首を傾げた。単身で国を落とせるほどのエンチャンター。そんなものがあれば、サバイバーの生存率はもつと上がっている。そもそも武器エンチャンターは、素材となつた魔物の性質を色濃く反映させる。つまり、素材となつた魔物がそれだけのポテンシャルを持っていることになる。……そこまで考えて夜光は一つの疑問にぶち当たつた。

(そういえば俺が玲奈からもらつた『天邪鬼払』は何が元になつた武器だ? いや、元の魔物がわかつていない武器、俺はそれを最近見たはずだ。そして、目の前の男もそれを知っている)

「ツ!開祖の筆か」

夜光の答えに斜佳道は拍手をしながら首を縦に振つた。

「そう、あれはまぎれもなく国を、世界を変えられる最強の武器エンチャンターの一つだよ。Zランクは近年つけられた分類で、本来は神器と呼ぶそう。古い文献によれば、確認されている神器は4つ。その内、現存を確認できている者は開祖の筆だけだけど、もしライツが3つのうちどれかを見つけていれば計画は成るかもしれないね。まあ、使いこなせるかという問題があるけど」

「さて、さっきの質問に答えてないだろ?あんたの立ち位置を教えてくださいよ」

「:前に話した通りさ、サバイバーだけの国を作るつというのには僕も必要なことだとは思っているよ。共存の道を模索するまでは我々の安全地帯が必要だ。しかし、それはそう簡単にいくとは思っていないし、人類を滅ぼすなんてことは現実的じゃない。だけど、不可能ではないのさ。一部の人間はそう確信したから僕たちサバイバーを徹底的に管理する今の体制を作つたんだしね。だから、この国で計画を実行するようなら僕は止めるし、君を含めた仲間に危害が及ぶならライツを殺すとも。ただし、優先すべきはサバイバーの保護であり、彼らとの戦いではない」

嘘をついている気配を夜光は感じなかったが、それでも気持ちの悪い言い知れぬ違和感に襲われていた。

「聞きたいことは聞けたかい?」

そこまで話した時点で二人の間に沈黙が降り、無言の時間が始まった。夜光は情報を整理しながら唸っており、斜佳道はそれを見ながら笑みを浮かべている。斜佳道が浮かべている笑みは何を考えているのかわからない不気味で腹立たしいものだった。少なくとも夜光にとって。

だからなのだろう。きっと夜光は安価のことがなくともこの質問をしていた。目の前の男の薄気味悪い笑みを崩せると思って。

「聞きたいことは山ほどあるんだけど、先にこれを聞いとく。………女を落とすコツってあるか？」

54：いつち

ってなわけでボスから女性遍歴を聞き出してきました。予想外の質問だったらしくアホ面晒してて最高に面白かった。

55：名無しの転生者

おいその前に言うことあるだろ

56：名無しの転生者

第三勢力の説明よりも先にすることあるだろ

57：名無しの転生者

黒髪ちゃんどこにやった？

58：いつち

>>57君のような勘のいいガキは嫌いだよ…

59：名無しの転生者
草

60：名無しの転生者
屑

61：名無しの転生者
はよ薄情しろ

62：名無しの転生者
実際マジでどうしたんだよ

63：名無しの転生者
さらつと帰ってきてるけど

64：いつち
普通に置いてきたよ

65：名無しの転生者
はい死刑

66：名無しの転生者
クオレは屑ですね

67：いつち
黒髪ちゃんには黒髪ちゃん的生活があるし、正直シンプルに黒髪ちゃんを連れて東京まで帰ってこれない。魔物に殺される。

68：名無しの転生者

はー、イツチマジかよ。ファン止めよ

69：名無しの転生者

っていうかイツチよく無事に返してもらえたな

70：名無しの転生者

>>67 嘘つくな。黒髪ちゃんは強いんやろ？

71：名無しの転生者

帰るって言ったら引き留められそうだけど

72：いつち

>>70 素人が！戦闘経験がなければいくら強くてもサバイバルしながら移動するなんて無理なんだよ！

73：名無しの転生者

イツチガチギレやんw

74：名無しの転生者

>>72

ハイファンタジー組のワイが保障する。これはガチやで？チート持ちで戦ったことがない一般人は土壇場で固まっちゃうんだよな

75：名無しの転生者

転生特典当たりニキの中にも苦い経験をしたやつ多いだろ

76：いつち

>>69

すんなり返してくれたぞ？

77：名無しの転生者

うーむ、黒髪ちゃん的心情がわからない

78：名無しの転生者

イツチ的にはどう？黒髪ちゃん、イツチに依存してるよな？

79：名無しの転生者

スレ民は人の心がわからないのだ

80：いつち

>>>78

よくわからないっていうのが正しい。弱ったところを土足で踏み込んだから、依存気味ではあると思うけど元々、何にも寄りかからずにトラウマをうまく制御している子だったから、ドロドロに依存はしてないと信じてる。

81：名無しの転生者

トラウマ隠せてたか？

82：名無しの転生者

まあ、初見じゃわからなかったな

83：名無しの転生者

黒髪ちゃんのどれが素なんだ：

84：いつち

全部素ではあると思う。攻撃的な面は威嚇だったにしても、男で遊んで楽しむのは本人の趣向入ってると思うし

85：名無しの転生者

そろそろボスの話して

86：名無しの転生者

>>84それはそれで問題なんよな

87：名無しの転生者

>>86は？興奮するだろ？

88：名無しの転生者

>>86未熟者め！興奮しろ

89：名無しの転生者

>>86ロマンが詰まってるだろう

90：名無しの転生者

>>86

腹黒お嬢様とか最高だろ？

91：名無しの転生者

お前らw

92：名無しの転生者

打ち合わせでもしたんか？

93：名無しの転生者

やはり清楚こそ至高！他は邪道だ！

94：名無しの転生者

は？やんのか？

95：名無しの転生者

これは戦争だな

96：名無しの転生者
宣戦布告とみなすぞ？

97：名無しの転生者
草

98：名無しの転生者
誰か収集付けて

117：いつち

皆さんが静かにならないので、報告は今度にして安価します。新しい趣味>>127

118：名無しの転生者
!?

119：名無しの転生者
急に!?

120：名無しの転生者
え？新しい趣味？

121：名無しの転生者
もつと他に何かあるだろ？

122：名無しの転生者
な、ナンパ？

123：名無しの転生者
散歩？

124：名無しの転生者
ゲーム

125：名無しの転生者
修行

126 : 名無しの転生者

ナンパ

127 : 名無しの転生者

日記

第15話

なんか学校行くことになった

1：いっち

イケメンボスから行きなさいって言われた

2：名無しの転生者

イツチ！久しぶりじゃないか

3：名無しの転生者

女の敵じゃないか！

4：名無しの転生者

やあ、鬼畜クソ野郎

5：名無しの転生者

マッチポンプ屑野郎どうしたよ

6：名無しの転生者

みんな辛辣で草

7：名無しの転生者

スレ民が悪いんだけどな……………

8：名無しの転生者

現状報告して

9：いっち

前回の安価から1週間ぐらい経ってる。もうすぐ夏が終わる。

10：名無しの転生者

悲しいな

11：名無しの転生者

季節の変わり目か

12：名無しの転生者

で？結局、何で学校に行けって言われたんだ？

13：名無しの転生者

イツチって歳いくつだっけ？

14：名無しの転生者

15とかじゃなかったっけ？

15：名無しの転生者

じゃあ、中学生か

16：いっち

今から中学3年生になるのはあれだから、16歳ってことにして高校生扱いになった。高校1年生として、学校に通いなさいって。

17：名無しの転生者

あー、そもそも戸籍がないからそういうことができるのか

18：いっち

若人が疑似的とはいえ青春を楽しめないなんておかしな話さ。つてわけで、明日から高校生だからよろしくって言われました。

19：名無しの転生者

草

20 : 名無しの転生者
明日!?

21 : 名無しの転生者
詳しい説明は?

22 : いっち
ないです

23 : 名無しの転生者
草ですわ

24 : いっち
大きな問題が二つある。一つは、ワイがサバイバーだとばれないように色々と加減しないとイケないこと。まあ、これは慣れれば行ける。力加減を間違つて、相手を殺しちゃいましたとかはないはず。問題は二つ目だ。

25 : 名無しの転生者
ほうほう、二つ目は?

26 : 名無しの転生者
慣れればイケるのか

27 : いっち
二つ目は……自己紹介だ

28 : 名無しの転生者

29 : 名無しの転生者

30：名無しの転生者

31：名無しの転生者

あー、うん、名前言えばいいだけだろ

32：名無しの転生者

わかるわかる。奇をてらった自己紹介で地獄みたいな空気を作り出すのが怖いんだろ？

33：名無しの転生者

無難にやれば問題ないだろ？

34：名無しの転生者

いや待て。イツチ……お前まさか転入生で入るのか？

35：名無しの転生者

!?

36：名無しの転生者

そうか！みんなが自己紹介するならばとにかく、一人だけ自己紹介するとなるとその重みは全くの別物だ。

37：名無しの転生者

トラウマニキ達がなんか語りだしたな

38：名無しの転生者

どんだけ自己紹介が怖いんだよw

39：名無しの転生者

普通に名前言って、趣味言って、よろしくお願いしますで終わりだろ

40：名無しの転生者

それができないのはコミュ障では？何か面白いことを言おうとするから、そうなるんやで！

41：名無しの転生者

チクチク言葉嫌いだ

42：いつち

というわけで安価します

43：名無しの転生者

意味が分からん（困惑）

44：名無しの転生者

自己紹介を安価に任せるとか正気か？発狂してる？

45：名無しの転生者

狂気発症してるだろw

46：名無しの転生者

フェティズム、対象は安価

47：名無しの転生者

それはこのスレ民だろ？

48：いつち

ここ最近の件で、安価を使えばアホみたいな補正がかかることが証明されました。そこで、安価を使って無難で最高な自己紹介を行って見せるんだ。

無難な自己紹介のセリフ

49：名無しの転生者
なるほど

50：名無しの転生者
冷静になれ

51：名無しの転生者
ここにいるのはスレ民だぞ？

52：名無しの転生者
俺の名前はイツチ。趣味は狙撃、女遊び、掲示板だ。よろしくな

53：名無しの転生者
イツチと言います。よろしく願います。

54：名無しの転生者
転校生のイツチ、ただの人間には興味ありません。この中に宇宙人、未来人、異世界人、超能力者がいたら、俺のところに来なさい。以上

55：名無しの転生者
ハルヒがいるな

56：名無しの転生者
イツチと言います。親の都合で先月引っ越してきたため、入学が遅れました。よろしく願います。

57：名無しの転生者
イツチだ。よろしく頼む。

58：名無しの転生者

イッチと言います。少し遅れての入学になってしまいました。仲良くしてくれると嬉しいです。あ、○○さん！昨晚お世話になった○○さんじゃあないですか！

59：名無しの転生者

イッチと言います。サバイバーです。ムカついたら狙撃しちゃうぞ

60：名無しの転生者

拙者、イッチと申す。よろしくでございます。

61：名無しの転生者

イッチです、よろしくお願いします。卒業までに彼女1000人が夢つす。

62：名無しの転生者

何これ？

63：名無しの転生者

よくわからん

64：名無しの転生者

相変わらず、ひどいな。解説して

65：名無しの転生者

○○には人名が入る。今日中に転入する学校のクラスにいる人間と仲良くなれば、上記のセリフが言えるようになる。頑張れ。

66：名無しの転生者

な、なるほど？

67：名無しの転生者

要するに、安価成功のためにはまずナンパが必要なわけか

68：名無しの転生者

どうしてこうなった？

69：名無しの転生者

そもそも、女である必要があるとは言っていないのですがそれは

70：いつち

どうしてこうなった!!!!!!
!!!!!!誰が悪かったッ！何が間違っていたッ！

71：名無しの転生者

悪かったのはイツチとスレ民。間違っていたのは、安価をしたこと
だなw

72：名無しの転生者

>>>51がすべてを物語っているのさ

73：名無しの転生者

ってなわけで、ナンパに行つてこい

74：名無しの転生者

二回目だから余裕だろ？

75：名無しの転生者

同学年の同じクラスを探してこい

76：名無しの転生者

イツチならできると信じてるぜ！

77：いつち

……ナンパのセリフも決めます

78：名無しの転生者

なん……だと

79：名無しの転生者

追い安価だど!? 正気か

80：名無しの転生者

バカな！そんなことをすれば、どうなるか想像できるはずだ！

81：名無しの転生者

落ち着くんだ、イツチ。考え直せ！

82：名無しの転生者

イツチの覚悟を無駄にするな！最高に恥ずかしいことを言わせるチャンスだぞ

83：名無しの転生者

歴史から学べ。さっきの結果に満足しているのか？

84：いつち

バカ野郎！俺は勝つぞお前！ナンパのシチュエーション、ナンパのセリフ！>>100

85：名無しの転生者

そうか、確かにナンパのシチュエーションを決めておけば探す手間がだいぶ省ける。この安価は、そこまで考えた安価だったのか！

86：名無しの転生者

確かに、シチュエーションを駅前とかにしたら探す場所は限られるけど……セリフを決める必要あったか？

87：名無しの転生者

(たぶんそこまで考えて) ないです。

88：名無しの転生者

セリフかあ

89：名無しの転生者

これ、場所をラブホとかにしたらどうなるんだろ？

90：名無しの転生者

あつ……

91：名無しの転生者

これは面白くなってきましたねえ！

92：名無しの転生者

ラブホ前でナンパされているところを助ける。セリフは俺の女に手を出すな！

93：名無しの転生者

建物の上から飛び降りる寸前のところを助ける。セリフは「死ぬのはいつでもできるから最後にしときな」で！

94：名無しの転生者

駅前でナンパされていることを助けて、逆にナンパしろ。セリフは「道に迷ってるんだけど、この辺詳しくあったりする？」

95：名無しの転生者

バスの中で寝落ちしている相手を終点で起こす。セリフはなしで。

96：名無しの転生者

バスの屋根の上で、ナンパ。セリフは「お嬢さん、貴方もここに来てしまったのですね？ 嘆かわしいことです」

97：名無しの転生者

バーで違法に働いている子にナンパ。セリフは「お金は目も眩むような力がありますが、私はお嬢さんの魅力に目が眩みそうです」

98：名無しの転生者

>>95ありだな

99：名無しの転生者

バスの中で寝落ちしている相手を起こして、コーヒーを奢ってコンビニで長話する。

100：名無しの転生者

駅前でナンパされている子を助けて、サバイバーに襲われているその子を助ける。ナンパのセリフは敢えてなしで

101：名無しの転生者

ラブホの前でうろついている子に声をかける。セリフは俺と遊ばないかい？

102：名無しの転生者

どうということだってばよ

103：名無しの転生者

>>100

駅前でナンパされているシチュエーションの後に、ナンパされていた子がサバイバーに襲われるんやで

104：名無しの転生者

街中でサバイバーと戦うのか（困惑）

105：名無しの転生者

欲張りセツトだな

106：名無しの転生者

街中でサバイバーと戦うのか………イツチの素性バレかねないのでは？

107：いつち

………ワイはもう二度とスレは開かんからな

残暑を感じさせつつ、秋の気配を孕んでいる少しだけ生暖かい風を受けながら、少女は最寄り駅から少し離れた新宿に到着する。その駅を囲むように百貨店や家電量販店が並んでいる。様々な路線が走る駅の周辺は今日も多くの人が行き交っている。

少し高めの建物にあるカフェに入り、大きな窓から町を見下ろす。眼下にはガラガラとした明かりと怪しげなネオンに包まれた街が広がっているが、その奥の方に目を向ければ廃棄され崩壊しかかっている昔の街の残骸が見える。日常と非日常がせめぎ合っている。そんな空気を醸すこの場所がなんとなく好きだった。

席に着き、コーヒー片手に時間をつぶしてから再び駅の改札に向かった。別に用があったわけではない。何となく、家に帰りたくない気分だったのである。

少女の格好は、少し遊んでいる印象を受けるものを着ている。まだ夏の匂いが残っているとはいえ思わず目を引く紺色のスカートは夏場の娼婦のように露出度が高く、その白い肌を惜しげもなく晒している。

夜光や計正が見れば、素晴らしい脚線美と絶賛したであろう。派手なアクセサリーに髪は金髪に染められているが、その他は割と地味な服装である。アンバランスだなとギャルギャルしい女子を知っている人間は思うだろう。

そして、安価を達成すべく駅まで来ていた夜光は偶然その少女を見つけた。少女を一目見た夜光は何故少女がそんなアンバランスな恰好をしているのかを理解できてしまっていた。

だから、夜光はナンパとか関係なく少女に話しかけるつもりだった。客観的に見るとナンパだし、主観的に見てもただのナンパだが。「やっと見つけた。悪いね、お兄さん方。この子先約があるんだ。ほら、みんな待ってるから行くぞ」

夜光はナンパに面倒くさげに対応している少女の腕を強めに掴んで、駅から連れ出した。

意外とあっさり到着してきた少女は、安堵と不安に瞳を揺らした。その理由は、ナンパから救ってくれた夜光が好きになったとかではないことを夜光は察していた。

派手な格好をしつつも、どこか無理をしているような印象を受ける少女だった。彼女のそれを見て、すぐにわかった。

少女は非日常に飢えているのだ。わかりやすく言えば、死ぬほど質の悪いことにこの少女は臆病でありながら刺激を求めているのだ。一目見ただけだが、本当の刺激を知らないが故にそうなっていると確信させる雰囲気彼女にはあった。何より、過去にそういうやつが身近にいたことがあり、すぐダブって見えたのである。常に刺激にさらされているサバイバーにはありえない思考回路である。

そんなことを考えつつ、夜光は安価に従い少女の前から姿を消した。

第16話

400：いつち

ワイは自分の転生特典が怖い

401：名無しの転生者

わかる

402：名無しの転生者

ここまで綺麗に行くとな

403：名無しの転生者

ご都合主義の権化みたいな展開キタコレ

404：いつち

ナンパしている子を助けるまではいいいけど、マジでサバイバーに襲われるとは思わないじゃん？

405：名無しの転生者

ってというか街中でサバイバーが一般人を襲うなんてあり得るのか？

406：いつち

あり得たらサバイバーは今よりもエグイ環境に置かれてる

407：名無しの転生者

だよな

408：名無しの転生者

ですよ

409：名無しの転生者

安価のせいでサバイバーが生えてきたけど、何者なんだろう？

410：名無しの転生者

っていうか画像上げてる場合じゃないだろ

411：名無しの転生者

確かに、はよ助けに行けって

412：いつち

ギャルモドキちゃん、巨漢に抱えられて車に乗せられる。そして、その車は大通りに向けて走り去ってしまったぜ。やばいな、どうやっ

て追いかけよう

413：名無しの転生者

冷静に解説すんな

414：名無しの転生者

助けに行けよw

415：名無しの転生者

何を躊躇ってるんだよ

416：名無しの転生者

イツチこのまま見捨てる気？

417：名無しの転生者

それは流石に屑やで？

418：いつち

車に追いつくことは普通にできる。でも、車と人間が並走しているのを見たらサバイバーだって一発でバレる。

419：いつち

ワイがサバイバーだってバレるのは、ワイの他にも迷惑かかるから合理的に考えるのであれば見捨てるべきなんだけど、安価を自発的に諦めるとワイが死ぬのでそれもないなし

420：名無しの転生者

つまり？

421：名無しの転生者

打つ手がないと

422：いつち

そう、だからやることは決まってる。安価だあ！車に追いつく方法

！>>432

423：名無しの転生者

安価キタ——（。▽。）——！！

424：名無しの転生者
それしかないよな

425：名無しの転生者
渋滞で車が止まるから徒歩で

426：名無しの転生者
走れ

427：名無しの転生者
先回りしろ

428：名無しの転生者
自転車を拾って追いかける

429：名無しの転生者
タクシー拾って追いかける

430：名無しの転生者
その辺に落ちている石とかを投擲して相手の車のフロントガラスを割る

431：名無しの転生者
その辺走ってるバイクを拾って乗せてもらう

432：名無しの転生者
手元にある適当なものを投擲して車に当てる。そして事故らせる

433：名無しの転生者

ナンパして車に乗せてもらえ

434 : 名無しの転生者
頑張って追い付いて

435 : 名無しの転生者
イツチの手元になにある？

436 : 名無しの転生者
また微妙なものが

437 : いっち
コンビニで買ったソフトクリーム

438 : 名無しの転生者
草

439 : 名無しの転生者
草

440 : 名無しの転生者
草ですわ

441 : 名無しの転生者
投擲したら車に届く前に空中で四散するわ

442 : いっち
え？ソフトクリーム投げるの？マジ？ま、まあ投げるけど……

443 : 名無しの転生者
いけそう？

444 : 名無しの転生者
届くのか? 無理じゃね?

445 : 名無しの転生者
プラスチック容器入りだからいけるだろ

446 : 名無しの転生者
厳しいだろ?

447 : いつち

他の車に当たってその車がハンドル操作をミスってギヤルモドキちゃんが乗ってる車に追突した。で、ギヤルモドキちゃんの乗ってる車が爆発した。

448 : 名無しの転生者

449 : 名無しの転生者

450 : 名無しの転生者

451 : 名無しの転生者
前科?

452 : 名無しの転生者
人助けだからセーフ?

453 : 名無しの転生者
クオレはやらかした?

454 : 名無しの転生者
いつかやると思ってた

455 : 名無しの転生者

車は止まったし、追い付けるだろ？

456 : 名無しの転生者

がんばれー

457 : いつち

みんな暢気すぎん？どんくらいワイが焦ってるかわかるだろ？

458 : 名無しの転生者

>>457ドンクライドンクライ、そう落ち込むなよ

459 : 名無しの転生者

草

460 : 名無しの転生者

草

461 : 名無しの転生者

座布団1枚

462 : 名無しの転生者

>>458!?!どんくらいがドンクライでDon't cryなの
か

463 : 名無しの転生者

冷静な解説いらん

464 : いつち

>>458

ぶっ飛ばすぞ

465：名無しの転生者

そう怒るなよ

466：名無しの転生者

とりま助けに行けば？

467：名無しの転生者

逆に注目集まってそうだな

468：名無しの転生者

これは逆に助けに行けないのでは？

469：名無しの転生者

誰か動画取ってそう

470：いつち

逃げられた、事故った瞬間にドア開けてギヤルモドキちゃんを連れて行きやがった。急に車が爆発したから焦ったけど、ただの目くらましだったのか

471：名無しの転生者

？

472：いつち

とりあえず見捨てるのは寝ざめが悪いし、人気のない場所に逃げ込んだから追いかける

473：名無しの転生者

お、おう

474：名無しの転生者

急に意味わかんない

475：名無しの転生者

たぶん、イツチのソフトクリームで車が事故を起こす。で、その車が爆発して炎上したんだけど、その原因は事故ではなくて車から脱出するための煙幕でギャルを攫った男の自作自演だったと？

476：名無しの転生者

なるほど、わからん

477：いつち

もうすぐ追いつく。サバイバーを締め上げたらまた戻ってくる

478：名無しの転生者

待ってるぜ

485：いつち

クソバトルジャンキーお嬢様（学園生）に、ワイの生存がばれました。

夜光が裏路地に飛び込みしばらく歩いた先にあったのは、少し開けた広場とそこで気絶している男と少女だった。

男の方は間違いなく少女を攫ったサバイバーであり、少女の方もまた攫われた被害者であった。

一体何があったのか……。首をかしげて困惑する夜光の頭上に人影が現れた。夜光は咄嗟に姿勢を前方に転がることで移動し、ギターケースから武器を取り出した。それはその場での最適解だったと言える。刀を握って自身がいた場所に敵意を剥けるがそこには誰もいなかった。しかし、その地面には斬りつけたような傷跡が付いていた。

未来視が夜光の危機を告げる。

夜光は自分の真後ろに刀を振るった。今度は刃が重なり火花を散らせた。

そこにいたのは長い金髪をお嬢様結びでまとめた少女だった。瞳孔の開ききった好戦的な緑眼と夜光の瞳が交差する。

そこから数回剣戟を重ねたのち、少女は大きく跳躍してビルの屋上に足を下ろして笑った。

少女は無傷で夜光は所々血で体を汚している。

「貴方、夜光よね？」

少女のその言葉に夜光は固まった。本日2度目のフリーズである。

「誰のことだ？」

何とかしらを切ろうとひねり出した言葉は少女によって否定された。

「剣を交えれば私は相手のことがわかるわ。技術とか駆け引きとかを嘲笑うかのような、理解不能の回避。凡人が生き残るために研ぎ澄ました生存特化の剣。それは紛れもなく私が嫌いな男の剣よ」

「……………夜光は死んだはずだが？」

「ウフフフフフ！アハハハ、貴方バカかしら？バカだったわね」

「……………おい」

「生き残る以外に能のない雑魚が死ぬわけないでしょ？」

一頻笑った後、少女は当たり前前の常識を語るような口調で、そう返した。それは、ある種の信用であり夜光の評価そのものだった。

「誉め言葉として受け取っておく」

夜光は心の底からほんの少しも自身の生存を少女が疑っていたかかったことに一抹の不安を覚えた。学園にも他に夜光の死亡に懐疑的な者がいると、見つかってしまうからだ。

「それで、俺は帰らせてもらえるのか？」

「あなたのこと黙ってた方が面白くなりそうだし、いいわよって答えてあげてもいいのだけれど、貴方の首を凜に見せたらいい顔しそうなよねえ」

「……………趣味が悪い」

「知ってるでしょ？」

「ッ！」

月を背にして3階建ての屋上に立っていた、少女の姿が消える。そして、夜光に衝撃が走った。赤い軌跡を描く銀色の刃を躲したはずの夜光は自分の判断ミスを悟った。

（斬撃は囷で本命は蹴りか！）

戦闘での駆け引きにおいて夜光はほとんど負けたことがない。それは未来視という転生特典があるためだ。しかし、格上相手の場合この未来視は自分の生存能力を上げることには使えても、読み合いにおいて相手の上を取ることはできない。なぜなら、未来視にリソースを割り、より先をより正確に見ると現実での意識リソースが足りなくなることからである。わかりやすく言えば、計算を行いながら走ることはできても計算に集中したまま全力疾走するのは難しいのと同じである。

「いい声で鳴きなさいー」

骨を軋ませ臓腑を揺らす感覚を靴底に得つつ、強烈な後ろ回し蹴りを繰り出した少女が 好戦的な笑みを浮かべる。

「グッ!？」

夜光は蹴りを受けて、身動きも取れないまま、背中から床に落ちそのまま広場の端近くまで滑って行って仰向けに横たわった。未来視で見えていても僅かに反応が間に合わなかったのだ。

（やばい……………防御姿勢も受け身も取り損ねた。俺じゃなければ今のゲームオーバーだぞ）

痛みに悶える夜光は片膝をついて相手を見据えることしかできな

かった。

「貴方が死んだことになった後、凜がどうなったかわかるかしら？ 計正が何をしたかは？ 有栖はどうなったと思う？ 他の雑魚たちは？」

夜光は苦悶に顔を曇らせながらも、少女の言葉を聞き取っていた。なぜなら、あらゆる情報を取り込んでいなければ、目の前の少女に一瞬で殺されるからである。それほどまでに、夜光と少女の間には実力差があった。

「……………」

「一人だけ逃げた臆病者にはわからないかしら？ あれだけ威勢のいいことを言っておいて、あれだけ他人にお節介を焼いて足跡を残しておいて、逃げ出すとはね。私のことを言える立場かしら」

「……………」

「あーあ、これじゃあ、あの人も浮かばれないわ。結局、あの人の選択は間違っていた。庇われた貴方が仲間を捨てて逃げ出す屑だったとはね」

彼女の言い分は間違っていないが、正しくはない。夜光と他の仲間では背負っている事情が違っていた。逃げ出せない理由があり、自ら進んであの学園に身を置いているのである。

だから、夜光にとって凜を置いてきたことに罪悪感はあるとしても自分の中で無理やり納得はしていた。

ただし、夜光の心を激しく掻き乱す言葉が彼女からは吐き出された。

「所詮、ヒーロー気取りの偽善者。先輩を殺して生き長らえた殺人鬼に期待した私が愚かだったわ」

視界が大きすぎる感情に塗りつぶされる。未来視に回していたりソースをすべて殺意に回す。痛みは組み伏せ、術理を置き去りにする。

「俺だって好きで置いてきたんじゃないやねえ！」

夜光が先ほどまでとは比べ物にならない速度で迫る。少女にはその動きが完全に目で追えていた。しかし、動くことはない。彼女は黙って目を瞑った。

膨大な感情を込めた膝蹴りが、少女の鳩尾に突き刺さった。

「ッー」

横隔膜を撃たれた結果の悶絶と共にその体が大きく吹っ飛んだ。少女は、何の身動きも取らないまま、背中から床に落ちそのまま広場の端近くまで滑って行って仰向けに横たわった。夜光が蹴り足を引いて、息を整える。すでに夜光はボロボロだった。

「今の局面で刀を使わない甘さは反吐が出るけれど………前言は撤回するわ」

少女は口元を愉快げに吊り上げて立ち上がっていた。

「非礼を詫びましょう。腑抜けたままの貴方では暇つぶしにもならないから、挑発させてもらったわ」

「それは…失敗したな。俺はお前と戦う気はない」

「無理よ。私が戦うと決めたんだもの」

「しつこいと嫌われるって知ってるか？ 戦闘狂^薙！」

「あら、昔の女に追いかけられるのは嫌いかしら？」

「美女なら考えるが、ただの美女じゃなくて戦闘狂だからな。お断りだ！あと！お前は昔の女じゃねえ!!!」

向き合う二人の呼吸が完全に整う。同時に無言の意思疎通が交わされた。そして両者の刀が一斉に跳ね上がった。

一瞬にして距離を詰めた薙の刺突が夜光に肉薄する。受け太刀で応じた夜光がふと相手の大勢に違和感を覚え、そしてその違和感の正体を未来視する。咄嗟に夜光はバックステップで後ろに下がり、その勢いを殺さず左へ体を逃がす。

2秒後、夜光が今まで立っていた場所には深い、刀による斬撃の痕が刻まれた。

「貴方のそれ、ほんとに便利よね」

再び距離を詰め、数回ほど剣戟を重ねその果てに、待ち受けた機を見て取った夜光は、首を狙った横薙ぎの一撃を繰り出した。しかし薙は、初めからその攻撃を知っていたかのように、着弾地点に左手を置きその刃を素手で掴む。

夜行はそれに驚くことなく、体を仰け反らせる。結果的に、薙が

放った斬撃は、最低限の動きで躲かれ、反撃に転じた。この時点で彼は自身の選択のミスを悟る。

なぜならば、彼が観測する未来に次の薊の攻撃を捌く未来が存在しなかったからである。

「だから戦うのは嫌だったんだ」

彼の吐き捨てるような言葉は少女の耳に届き、薊は楽しげに笑った。

第17話

701：いつち

朝目が覚めるとそこは知らない天井だった

702：名無しの転生者

お！帰ってきたか

703：名無しの転生者

生きてる？

704：名無しの転生者

とりあえず、いつもの

705：名無しの転生者

現状報告して

706：名無しの転生者

クソバトルジャンキーお嬢様にボコボコにされて目が覚めたら、知らないホテルの一室にいた。ソファアでは優雅にバトルジャンキーお嬢様がコーヒータムきめてた。そして、ワイの寝ていたベットにはこの間ナンパから助けたギャルモドキちゃんが！

707：名無しの転生者

通報した

708：名無しの転生者

通報した

709：いつち

>>>707

通報するな。ワイは何もしていない。着衣に乱れもない。クソお嬢様を問い詰めたところ、ワイをボコった後ギャルモドキちゃんのことを思い出して処理に困った挙句、ワイと共に自分の泊まってるホテルに連れて帰って来たらしい。実行犯の巨漢は亀甲縛りで放置してきたらしい。正直、ワイも何言ってるのかわからないけどこいつの思考を理解しようとするのは、無理なので。

710：名無しの転生者
なるほど？

711：名無しの転生者
今頃亀甲縛りの巨漢が誰かに発見されているのか……

712：名無しの転生者
今更だけど、クソバトルジャンキーちゃんのことについて詳しく。

713：名無しの転生者
ってというか普通のホテルに気絶してる人間を二人も連れ込んだのか？

714：名無しの転生者
たぶん、普通のホテルじゃないんじゃないか？

715：名無しの転生者
学園生なら特殊な立場だろうしな

716：名無しの転生者
っていか何で、学園生が単独で外に出てきているんだ？

717：名無しの転生者

>>712>>716

クソバトルジャンキーお嬢様とは、ワイらの世代の学園生の序列1位です。歴代でも指折りの強さで、正直学園生100人で囲んでも倒せないと思う。本気を出したところなんて、ほとんど見たことないくらい舐めプしてないと瞬殺になるから、いつも手加減してる。

学園生の中でも飛びぬけた成績かつ素行優良と判断された人間は、外出許可証を発行できる。これがあると短期間ではあるが、外出が可能。

性癖が歪んでる。泣いてる女の子、ハイライトが消えている女の子が好きなクソ女です。

718：名無しの転生者

それはイツチの同類では？ボブが訝しんだ

719：名無しの転生者

いい性癖だ：

720：名無しの転生者

つまり曇らせ好きか

721：名無しの転生者

安心しろ、イツチのクソ野郎具合も負けてないぞ

722：名無しの転生者

自覚してない分、質が悪いまである

723：名無しの転生者

外出先で戦闘してるんですけど、素行優良児なんですか

724：名無しの転生者

っていうかイツチ、今の現状どうなんてる？

725：名無しの転生者
なんてる？なってる？

726：名無しの転生者
>>723これは思う

727：いつち
>>726

クソお嬢様はある意味特別。協調性と素行は死んでるけど、将来的にさらに強くなれば現在の最強サバイバーに匹敵するっていう予想の元、放置されている。飛びぬけて強いサバイバーがいると、もしもの時の首都防衛に便利だから後釜を国は欲してるんだよね。後釜がいれば、当代最強を心置きなく使えるから。

>>723
お嬢様の話だと企業所属のサバイバーっぽいらしい。たぶん、向こうが隠蔽したがると思う。お嬢様は、面白そうだから休暇中に調べて置かって悪い顔して言ってた。

>>724
とりあえず、混乱するギャルモドキちゃんに事情を説明中。

728：名無しの転生者
草

729：名無しの転生者
自分が謎に攫われて気が付いたら知らないホテルのベットの上で、知らない女とナンパから助けてくれた男がいるのか………カオスだな

730：名無しの転生者
この盤面混沌としてるな。ギャルモドキちゃんが昨日の記憶を

持っていないければ勝ちなんだけどな。どういう説明してもイツチの正体かお嬢様の正体にぶち当たる。

731：いつち

最初は道端で気絶していた彼女を偶々見つけて連れてきたってことになろうかと思っただけで、警察に通報しろってなるから却下。何をどうやっても説明できないと考えたワイは安価をします。誘拐されたのは何となく覚えてるっぽいし

ギャルモドキちゃんを説得する方法>>750

732：名無しの転生者

ギャルモドキちゃんにイツチたちの正体を感じられず、周りの人にもイツチたちの話をしないように説得しないといけないのか。

733：名無しの転生者

無理だろ

734：名無しの転生者

無理だな

735：名無しの転生者

無理

736：名無しの転生者

安価キタ——（。▽。）——！！

737：名無しの転生者

殴って記憶を消すしか

738：名無しの転生者

物騒すぎるw

739：名無しの転生者

物騒
w

740：名無しの転生者

もう正直全部喋れば？

741：名無しの転生者

刺激を求めているギャルモドキちゃん視点では、結構わくわくでは？

742：名無しの転生者

執行局を名乗って上手くごまかす

743：名無しの転生者

監禁すれば解決やな！

744：名無しの転生者

執行局を名乗って騙すしかないな

745：名無しの転生者

イッチたちが誘拐犯になればいいのではないだろうか。そうすればイッチたちについて詮索されないし、そもそもイッチたちの正体はバレない。

746：名無しの転生者

イッチたちが攫ったことにして監禁すればええんやで

747：名無しの転生者

何も良くなって草

748：名無しの転生者

イッチたちのことは口止めしつつ誘拐犯から助けたことを話そう

749：名無しの転生者

監禁しようぜ

750：名無しの転生者

自分たちのことは詮索しないのを条件に誘拐犯が捉まるまで護衛するから言うことを聞いてくださいとお願いする。何としてでも納得してもらおう。

751：名無しの転生者

ニュースとか見せて誘拐されかけたことを認識させつつ事態が収束するまでは身柄を預かるって説明する。

752：いっち

まともな案が一つもなかったな

753：名無しの転生者

わかる

754：名無しの転生者

クオレはヤバいですね

755：名無しの転生者

草

756：いっち

とりあえずやってみる

757：名無しの転生者

頑張り

758：名無しの転生者
今回は分が悪そうだな

759：名無しの転生者
正直厳しそう

760：名無しの転生者
でも安価は色々な意味で絶対だから

780：いつち

全然普通に行けたわ。どんだけ非日常に飢えてるんだこの子

781：名無しの転生者
草

782：名無しの転生者
草

『不用意に動かない方が良さだろうね。特に今は』

あの事件から一夜が明けた現在。夜光は斜佳道と電話していた。秘匿回線を用いて電話を行っている。だからと言って絶対に安全というわけでもないため、夜光は周囲を警戒しながらも早口で報告する。

「ニュースは見た。昨日の事件ではただの交通事故として処理されていたけど、執行局が介入したのか？」

『そうだろうね。僕の方でも調べている最中だけど、少なくとも件の少女を誘拐した犯人が見つかっていない。加えて、昨晚の戦闘痕が話題に上がっていないことを鑑みると執行局が隠蔽しているのだろうね。どういう意図かはわからないけどね……もし、大事にしたくないという理由ではない、別の理由で隠蔽している場合は厄介なことになりそうだ』

そう、電話の向こう側にいる男の言う通り今朝のニュースに昨日の騒動は一部しか載っていないかった。時間は短かったとはいえ、武器を使用した戦闘を行っておきながら話題になっていない。不幸中の幸いだが、疑問が一つある。隠蔽の理由は、自分たちの保身やサイバー関連の不祥事を大きくするメリットが国にないことが挙げられるが、隠蔽が早すぎることに説明がつかないのである。交通事故の方は対処ができたとしても、戦闘痕を隠すにはそれなりの準備と人員が必要になる。執行局員は暇ではない上に、数が多いというわけではない。突発的に起きた事件にしては対応が早すぎた。

「別の理由ってのは何が考えられるんだ？」

『…仮にだけど、誘拐犯が君の旧友の言う通り企業所属のサイバーの場合、企業と執行局が癒着している可能性が考えられる』

「……………グルってことか？」

『そこまでは言わないさ。ただ、国に対して有益な研究や情報を流している企業は裏でグレーな取り決めを行っていることが一般的だからね。問題を起こしたサイバーを執行局が裁かなかった前例は過去に数件だけ存在しているのさ……………ふざけた話だね』

電話越しでも斜佳道がどんな顔をしているのか容易に想像がつく声色だったため、夜光は少し笑った。

おそらくはあの余裕の表情を崩して、不快気に吐き捨てているのだろう。

「つまり、このまま事態を放置しているのは最善ではないということか？」

『いや、今は様子を見た方が良い。何せ推測の域を出ないし、執行局が誘拐犯を捕まえてくれるのが一番いいのは同じだからね』

「……………誘拐犯が捕まって絵里奈の安全が保障されても、俺のことを一般人でないと認識している問題が残るんだけど」

『それについては任せたまえ。頼れるリーダーが何とかしよう』
「具体的には？」

『数日分の記憶を飛ばす方法は存在しているから大丈夫さ！』

「…後遺症とかは残らないよな？」

『ハハハハ、勿論だとも』

「こんなに乾いた勿論だともを初めて聞いた。

「……………しばらくは絵里奈に付いて様子を見るから、よろしく」